

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	昭和新町駐車場管理事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	810498	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	72	頁
施策体系	施策コード	070101		施策名		時代のニーズに即応した行政経営の推進をする										
計画期間	開始年度	平成24年度		終了予定年度		令和3年度		関連計画名								
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	(財)福知山市開発公社の解散に伴い、本市に移管された昭和新町226番地ほか4筆を最終的な活用方針が決定するまでの間、月極駐車場として管理運営する。				
対象者	駐車場利用者	対象者数	8	単位あたりコスト	149.5
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	105		106		93		80						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		105		106		93		80						
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	105		106		93		80						
決 算 情 報	① 流充用額	△ 30		△ 30		0		0						
	② 配当予算	75		76		0		0						
	③ 執行額	75		76		0		0						
	④ 執行率	100.0%		100.0%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.14	/	0.00	0.14	/	0.00	0.14	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,120		1,120		1,120		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,195		1,196		1,120		0						
主 な 利 用 特 財 (N-1年度実績値)		特財名称	土地貸付収入		種 類	財産貸付収入		実績金額	76		決算付属資料	34		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	駐車場利用区画数	区画	7 / 12	7 / 12	8 / 12	/ 12	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	駐車場新規利用区画数	区画	0	0 / 0	2 / 0	/ 0	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	38.0		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	現状として、土地の有効活用による財源確保の面からも継続した事業展開が必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	利用者の利便性及び財源の確保が図れる。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	最終的な活用方針が決定するまでの間の活用方法として実施している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	駐車場として貸付を行い、活用方針が決定するまでの土地を活用できた。		
これまでの課題及び今後の方向性	最終的な活用方針が決定するまでの間、新規貸し出しはせず、現在の利用者のみ引き続き同一条件により駐車場として貸付を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	引き続き駐車場として管理を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山城公園観光駐車場管理運営事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	650312	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる									
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山城公園観光駐車場の管理・運営を行う。福知山城天守閣・佐藤太清記念美術館などの来館者に駐車場を提供する。				
対象者	観光客及び市民(福知山城、美術館及びゆらのガーデン利用者)	対象者数	330,389	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,079		1,878		6,477		24,272				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		1,079		1,878		6,477		24,272				
予算財源内訳	① 一般財源	10		200		3,422		21,406				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	1,069		1,678		3,055		2,866				
決算情報	① 流充用額	363		4		0		0				
	② 配当予算	1,442		1,882		0		0				
	③ 執行額	1,388		1,636		0		0				
	④ 執行率	96.2%		86.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.10	/	0.00	0.15	/	0.00	0.15	/	0.00		
	② 概算人件費	800		1,200		1,200		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,188		2,836		1,200		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山城天守閣入館料等		種類	使用料及び手数料		実績金額	1,636		8	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	観光入込客数	人	927,086 / 942,000	1116577 / 942000	892414 / 942000	/ 942000	942000
	福知山城入館者数	人	39000 / 38,500	75246 / 50000	109189 / 50000	/ 60000	60000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	警備日数	日	3/3	6 / 3	0 / 0	/ 118	3
	単位あたりコスト		388.0	231.3			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	福知山城やまちなか観光の基点となる駐車場施設、トイレ施設として必要であり適切に管理する必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	令和2年度は大河ドラマの放送を受けて駐車場の利用が増加したが、警備員配置にかかる委託料は官民連携組織が負担した。例年は、繁忙期であるGW中のみ警備員を配置しており、経費削減に努めている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	大河ドラマの放送を機に福知山城、福知山光秀ミュージアムを訪れる観光客が増加したため、現在の駐車可能台数(70台)では不足している。そのため、福知山光秀プロジェクト推進協議会が近隣の民間駐車場を借上げを行い、協議会と連携して駐車場対応にあたった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	ゆらのガーデン前にあることから福知山城の観光客やゆらのガーデン利用者などへの効果は大きい。大河ドラマの好影響もあり、平日の昼前後は駐車場が満車状態になるなど、トイレも含めた管理については必要でありその目的は達成している。		
これまでの課題及び今後の方向性	土日祝日には満車になりやすいため、更なる駐車場確保の検討が必要である。老朽化したトイレの使用頻度が高く管理経費が上昇傾向にあることから観光客から改修の意見も寄せられている。令和2年度は官民連携組織・福知山光秀プロジェクト推進協議会で駐車場警備を3月まで行った。駐車場管理を直接実施で行っているが、包括委託など民間事業者への委託についても検討を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	老朽化したトイレの改修工事を実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山鉱山坑廃水処理場管理運営事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	540601	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	040502	施策名	公害対策を充実させる									
計画期間	開始年度	平成11年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名								
根拠法令等	鉱山保安法、鉱山保安法施行規則、水質汚濁防止法												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	旧福知山鉱山の坑道より排出される強酸性 (ph3) で金属成分を含む廃水を、鉱山保安法、鉱山保安法施行規則及び水質汚濁防止法に基づき適正な処理を行い、河川に放流することで市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全を図る。				
対象者	在田川 流域の市民		対象者数	不特定多数	単位あたりコスト
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	20,044	19,905	19,418	25,153				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)		20,044	19,905	19,418	25,153				
予算財源内訳	① 一般財源	2,529	433	2,427	3,143				
	② 国支出金	15,009	16,686	14,552	18,853				
	③ 府支出金	2,501	2,781	2,425	3,142				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	5	5	14	15				
決算情報	① 流充用額	467	0	0	0				
	② 配当予算	20,511	19,905	0	0				
	③ 執行額	20,311	17,322	0	0				
	④ 執行率	99.0%	87.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.65 / 0.00	0.28 / 0.00	0.28 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,200	2,240	2,240	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		25,511	19,562	2,240	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	休廃止鉱山鉱害防止事業		種類	商工費国庫補助金	実績金額	12,539	20	頁
		休廃止鉱山鉱害防止事業			商工費府補助金		2,089	30	
		電柱等占用料			商工使用料		4	10	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	処理日数のうち水質が目標基準内で処理できた日数	日	365/365	365 / 365	365 / 365	/ 365	365
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	処理日数	日	365/365	365 / 365	365 / 365	/ 365	365
	単位あたりコスト		60.2	55.6	47.5		
	水質検査	回	12/12	12 / 12	12 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		1833.2	1692.6	1443.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	現在でも処理前の原水は基準値を逸脱した水質であり廃水処理の必要がある。また、鉱山事業主が不在となった鉱山のため行政が行う必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	受益者である在田川流域の住民は少数であるが、広域的な見方をすると在田川が合流する由良川下流域にも影響する事業である。維持管理費や薬剤費、運搬業務等は毎回複数業者による入札(見積徴収)を実施しているため、経費削減に努めている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	維持管理運転及び施設修繕等を計画的に実施しており、365日基準内の水質で廃水処理が行えている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	施設の維持管理や施設等修繕を計画的に行うほか、緊急修繕等にも対応し、目標基準内での排水処理を実行している。豪雨や台風による影響が少ない年であったが、設備の維持管理上で必要な緊急を要する修繕が発生した。		
これまでの課題及び今後の方向性	本施設は稼働から約20年が経過しており、毎年、老朽化や磨耗劣化等により部品等の交換や修繕を実施している。本施設を運転し続けることが、市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全を図るためには必要と考えるが、処理費用は年間約20,000千円の処理費用がかかっている。コスト削減や効率化のため本施設に反映できる最先端の処理方法がないか調査研究機関へ接触を図っている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	シルバー人材センター支援事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	420102	款	05 労働費		項	01 労働諸費		目	01 労働諸費		会計	01 一般会計	決算付属資料	160	頁
施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の生きがいを創出する												
計画期間	開始年度	昭和60年	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等	福知山市高齢者労働能力活用事業費等補助金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	高齢者の就業機会の増大と福祉の増進(生きがいを得る)を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある社会づくりに寄与する。					
対象者	シルバー人材センター及びその会員		対象者数	661	単位あたりコスト	27.9
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	15,905		15,898		15,898		15,898			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		15,905		15,898		15,898		15,898			
予算財源内訳	① 一般財源	15,366		15,354		15,343		15,326			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	539		544		555		572			
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0			
	② 配当予算	15,905		15,898		0		0			
	③ 執行額	15,894		15,894		0		0			
	④ 執行率	99.9%		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.39	/ 0.00	0.32	/ 0.00	0.32	/ 0.00	0.00	/ 0.00		
	② 概算人件費	3,120		2,560		2,560		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		19,014		18,454		2,560		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地建物貸付収入		種類	財産貸付収入		233		34	決算付属資料	頁
					実績金額						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	シルバー会員数	人	695 / 720	680 / 720	661 / 720	/ 720	720
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	業務受注件数	件	5236 / 5593	5149 / 5236	5,113 / 5149	/ 5113	5300
	単位あたりコスト		3.3	3.1	3.1		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	高齢化社会において、元気な高齢者の就労による社会参加は、地域活力の向上とともに、高齢者福祉の観点からも重要である。高齢者に対し就業機会や生きがいの提供を行うシルバー人材センターの運営を引き続き支援する必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	高齢者に対する就業機会を提供し、また最低賃金の保障など現行の運営基盤を維持するためにも引き続き市が支援を行っていく必要がある。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	シルバー人材センターは高齢者に対し就業機会を提供することで、高齢者の生きがい創出や健康増進に寄与し、さらにボランティア活動の積極的な取り組みなどによる地域社会への貢献度も大きい。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	少子高齢化の進展や生産年齢人口の減少に伴う労働力不足の中、再雇用、定年の延長などの影響もあり高齢者の雇用環境が厳しくなっている。シルバー人材センターは高齢者の就労の場、生きがいの充実を図る場としての役割を担っており、会員の能力と希望に応じた公平で適正な就業機会を提供できるよう努めている。		
これまでの課題及び今後の方向性	再雇用、定年の延長等、60歳以降の人生の選択肢が増えたことにより、シルバー人材センターの会員数が減少傾向にあるが、今後、ますます進行する高齢化社会において、元気な高齢者の就労による社会参加は、地域活力の向上とともに、高齢者福祉の観点からも重要である。シルバー人材センターについては、自立されることが望ましい形ではあるが、市として高齢者に対し就業機会の提供を行うシルバー人材センターの運営を引き続き支援する必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	高齢者の就業機会の提供を行うシルバー人材センターの安定した事業継続の為に引き続き支援を行う必要がある。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	企業向け従業員住宅一般管理事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	320317	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060203	施策名	企業誘致を推進する												
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等	福知山市三和町立地企業等従業員住宅条例、普通財産フォレストサイドみわ(東棟)の管理及び運営に関する取扱要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地アネックス京都三和周辺の住環境を整備することにより、当該団地へ立地、または操業する企業等の従業員へ住宅を提供し、企業の労働力確保の一助として企業誘致の促進を図る。					
対象者	アネックス京都三和立地企業従業員		対象者数	250	単位あたりコスト	7.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	1,640		1,329		1,325		1,880						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		1,640		1,329		1,325		1,880						
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	0		0		0		24						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	1,640		1,329		1,325		1,856						
決 算 情 報	① 流充用額	0		0		0		0						
	② 配当予算	1,640		1,329		0		0						
	③ 執行額	952		642		0		0						
	④ 執行率	58.1%		48.3%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.06	/	0.28	0.05	/	0.30	0.05	/	0.30	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,180		1,150		1,150		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,132		1,792		1,150		0						
主 な 利 用 特 財 (N-1年度実績値)		特財名称	フォレストサイドみわ貸付収入		種 類	財産貸付収入		実績金額	642		決算付属資料	34		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	入居戸数	戸	13 / 26	14 / 26	15 / 26	/ 26	26
活動実績 (アウトプット) 実績/計画			/	/	/	/	
	直接接触企業数	件	305 / 300	362 / 300	396 / 300	/ 300	300
	単位あたりコスト		2.3	2.6	1.6		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・アネックスの近隣には民間賃貸住宅の供給は少なく、必要性は高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・アネックス京都三和立地企業及び従業員に対しては、家賃の減額措置を図り、企業立地の優遇性と立地促進を図っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・毎年度、新規従業員の入居申し込みもあり、アネックス京都三和立地企業従業員の住環境の向上に寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・当事業は企業誘致のインセンティブとして建設された住宅の管理であり、最終目的は企業の誘致であるが、事業単体の成果実績としては、入居戸数としている。 ・ただし、ヴィラージュみわについては永住を目的とした施設ではなく、単身者向け住宅であるため、住民の入れ替わりを前提と考えている。		
これまでの課題及び今後の方向性	基本的に住宅を適正に管理する事業であり、移住定住に向けた取り組みについては、企業誘致特別対策事業におけるU・Iターン者雇用奨励金加算などがある。 ただし、今後誘致企業の操業が進み満室になるなどの場合は、まちづくり推進課との連携により、企業からの移住先相談に応じるなどの取り組みを進めたいと考える		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	企業誘致促進特別対策事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	山田 信義						
会計情報	事業コード	320304	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060203	施策名	企業誘致を推進する												
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等	福知山市企業誘致及び操業支援条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地アネックス京都三和への企業誘致の促進と、長田野工業団地をはじめとする市内既存企業の奨励措置など設備投資の推進に向けた支援によって、企業の域内定着・雇用創出・若者定住等を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。				
対象者	長田野工業団地及び長田野工業団地アネックス京都三和の企業	対象者数	4	単位あたりコスト	1,772.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	71,992		47,930		53,980		121,180					
	② 補正予算	△ 53,401		△ 43,566		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		18,591		4,364		53,980		121,180					
予算財源内訳	① 一般財源	580		580		580		580					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	18,011		3,784		53,400		120,600					
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	18,591		4,364		0		0					
	③ 執行額	17,590		3,463		0		0					
	④ 執行率	94.6%		79.4%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.35	/	0.65	0.25	/	0.65	0.25	/	0.65	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	4,425		3,625		3,625		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		22,015		7,088		3,625		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	企業誘致促進特別対策事業基金繰入		種類	基金繰入金		実績金額	2,883		決算付属資料	40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	奨励金対象雇用者数	人	97/ 50	43 / 50	6 / 50	/ 50	50
	アネックス京都三和分譲区画数	区画	2/ 1	1 / 2	1 / 2	/ 1	累計27区画
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	奨励金交付企業	企業	9 / 7	5 / 7	4 / 7	/	7
	単位あたりコスト		17299.3	3518.1	865.8		
	直接接合企業数	件	305/300	362 / 300	396 / 300	/	300
	単位あたりコスト		510.5	48.6	8.7		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・企業の工場建設や設備更新に対する支援により、工業団地への資金投下を刺激し、地域経済の活性化や雇用創出に大きな役割を果たしている
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・アネックス京都三和の新規立地企業だけではなく、長田野工業団地立地企業においても、大規模な設備投資が進行しており、また今後複数計画されている。当事業のコストは高いとは言えない。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・直接的に雇用を促す事業として、奨励金対象の雇用者数を挙げている。 ・本市経済の活性化と市民の就労の場を確保するという最終目的のための、成果目標として、アネックスの区画分譲数は適正である。 ・区画分譲のための活動内容として、分かりやすく数値化できる直接接合企業数は適正と考える
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・雇用難ともいえる求人倍率の高さのため、企業の雇用がなかなか進まない状況であった。		
これまでの課題及び今後の方向性	長田野工業団地においては京阪神への企業の流出も見られるなか、本件事業を引き続き推し進めることで、本市での投資活動を支援する。またアネックス京都三和については新規誘致の魅力の一つとして活用し、操業を支援する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	企業誘致対策一般管理事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	320303	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060203	施策名	企業誘致を推進する									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市企業誘致促進及び操業支援条例												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地及びアネックス京都三和への操業支援並びに誘致活動を推進する				
対象者	長田野工業団地及び長田野工業団地アネックス京都三和の企業	対象者数	53	単位あたりコスト	84.5
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,250		1,314		1,675		2,042			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		1,250		1,314		1,675		2,042			
予算財源内訳	① 一般財源	789		0		0		1,966			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	461		1,314		1,675		76			
決算情報	① 流充用額	0		7		0		0			
	② 配当予算	1,250		1,321		0		0			
	③ 執行額	1,192		1,033		0		0			
	④ 執行率	95.3%		78.2%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.27	/	0.45	0.29	/	0.45	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	3,285		3,445		3,445		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,477		4,478		3,445		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	立地企業従業員住宅使用料		種類	商工使用料	実績金額	552	決算付属資料	10	頁
			電柱等占用料			商工使用料		73		10	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	アネックス京都三和分譲区画数	区画	2 / 1	1 / 2	1 / 2	/ 1	累計27区画
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	直接接触企業数	件	305/300	362 / 300	396 / 300	/	300
	単位あたりコスト		4.9	3.3	2.6		
			/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・長田野工業団地やアネックス京都三和での作業環境を整備し、福知山の経済振興に寄与するという社会ニーズを捉えている。 ・長田野工業団地は本市の税収の20%を占め、5,000人以上の市民にとって就労の場であることから、優先度は非常に高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・長田野工業団地スポーツ大会の補助金は、長田野工業団地の立地企業と近隣住民の交流を深める、500人もの人が参加する重要なイベントであり、30,000円の補助支出はコスト的にも適正である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	・本市経済の活性化と市民の就労の場を確保するという最終目的のための、成果目標として、アネックスの区画分譲数は適正である。 ・区画分譲のための活動内容として、分かりやすく数値化できる直接接合企業数は適正と考える
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・地道ではあるが、アネックス京都三和の団地PRが確実に成果を結びつつある。 ・現在14社の企業進出と19区画の土地譲渡契約が締結され、北近畿の雇用の創出と地域経済の活性化を担っている。		
これまでの課題及び今後の方向性	・企業訪問を始め関係機関との情報交換等、企業ニーズや企業の動向を早期に把握し、継続的な取組みにおいて企業誘致の促進を図る。 ・企業の設備投資に対する融資元となる金融機関に対しても、訪問やパンフレットの送付などPR活動を実施する。 ・非対面での誘致のため、令和2年度より全国の企業とのマッチングが可能なプラットフォームである京都銀行BigAdvanceの活用を開始した。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	アネックス京都三和企業誘致対策事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	320302	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060203	施策名	企業誘致を推進する												
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等	福知山市企業誘致促進及び操業支援条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	企業誘致の促進と既存企業の定着による雇用創出・若者定住等を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。					
対象者	アネックス京都三和立地企業及び接触企業		対象者数	300	単位あたりコスト	19.5
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☒ その他 (					

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	3,127	2,713	2,516	3,279			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	3,127	2,713	2,516	3,279			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	336	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	3,127	2,713	2,180	3,279			
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0			
	② 配当予算	3,127	2,713	0	0			
	③ 執行額	3,030	2,133	0	0			
	④ 執行率	96.9%	78.6%					
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.35 / 0.40	0.34 / 0.40	0.34 / 0.40	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	3,800	3,720	3,720	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,830	5,853	3,720	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	立地企業従業員住宅使用料	種類	商工使用料	実績金額	1,918	10	頁
		ヴィラージュみわ土地使用料		商工使用料	215	決算付属資料	10	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	アネックス京都三和分譲区画数	区画	2 / 1	1 / 2	1 / 2	/ 1	累計27区画
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	直接接合企業数	件	305/300	362 / 300	396 / 300	/ 300	300
	単位あたりコスト		12.1	8.4	5.4		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	・地域経済の活性化に繋がる重要な事業 ・アネックス京都三和は京都府土地開発公社の保有地であり、行政が先頭立って誘致することで、企業の安心感も高い ・直接的に雇用創出につながり、優先度は非常に高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	・H22以前の立地企業のみを対象とした水道使用奨励金については、それ以降の立地企業との差を低減するため、条例を廃止し、遞減して補助する制度を創設した。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	知名度を向上させるため、多くの企業へアプローチをすることで、工業団地をPRすることが必要である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・企業展で積極的にPRを展開し、接触企業数も目標を達成することができた。 ・4年間で10区画の分譲が進んでおり、成果も着実に上がってきている。		
これまでの課題及び今後の方向性	・新型コロナウイルスによる企業活動や世界的な経済活動の低下など、景気に暗雲が立ち込めている。 ・長田野工業団地立地企業や、市内の既存企業との取引先企業にアプローチをはかり、企業誘致が市内全体の経済活性化に繋がるような取組みを図りたい。 ・非対面での誘致のため、令和2年度より全国の企業とのマッチングが可能なプラットフォームである京都銀行BigAdvanceの活用を開始した。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	起業おうえん事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	320212	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060204	施策名	起業支援を推進する												
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名											
根拠法令等	福知山市創業支援等事業計画															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市内の事業所数が減少傾向にある中、市内で新たに事業を営む者に対し助成制度を実施することで、創業時の経費負担を軽減するとともに、創業時のノウハウ取得のためのセミナー等の開催により、創業しやすい環境を整え、起業及び雇用を促進することで産業の活性化を図る。本事業は国から認定を受けた福知山市創業支援計画に基づき実施する。				
対象者	市内での起業予定者及び起業後1年未満の者		対象者数	不特定多数	単位あたりコスト
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	5,167		5,118		3,463		5,326						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		5,167		5,118		3,463		5,326						
予算財源内訳	① 一般財源	417		417		330		340						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	4,750		4,701		3,133		4,986						
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0						
	② 配当予算	5,167		5,118		0		0						
	③ 執行額	3,680		1,879		0		0						
	④ 執行率	71.2%		36.7%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.40	/	0.00	0.35	/	0.00	0.35	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	3,200		2,800		2,800		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,880		4,679		2,800		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	起業おうえん事業基金繰入金			種類	基金繰入金		861		40		頁		
		起業おうえん事業(地方創生推進交付金)				商工費国庫補助金		939		決算付属資料			20	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	市内での創業者数	人	23/32	32 / 32	21 / 32	/ 32	128
	セミナー参加者のうち、創業者数	人	4/5	3 / 5	2 / 5	/ 5	20
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	セミナー参加者数	人	30/15	45 / 15	21 / 15	/ 15	60
	単位あたりコスト		167.6	81.8	89.5		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	市内の廃事業所数が増加していく中で、市内の事業所数を確保するためにも新規創業者への支援は必要である。創業時の知識習得、費用面の負担において支援することで、毎年一定の創業者は確保できている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	セミナーの実施については商工会議所、商工会へ委託。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	補助金、利子補給、セミナー等あらゆる角度から創業希望者の支援を行っており、利用者アンケートの結果でも、その有効性は高い。補助金制度について、創業時の経費面での負担軽減に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本事業は国から認定を受けた福知山市創業支援事業計画に基づき実施しており、計画内での目標である年間32人の創業者数をめざしている。		
これまでの課題及び今後の方向性	より効果的な地域創業支援を促進するため、従来から実施している市内金融機関等とのネットワーク会議にて創業支援に関する情報を共有し、連携を強める必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ふるさと就職おうえん事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	320207	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060401	施策名	就業支援を充実させる									
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	高校生をはじめとする若者の地元企業への理解と関心を高め、地元への定着と地元企業の人材確保につなげるとともに、福知山地域の事業所と求職者との出会いの場を創出することで雇用の安定を図り、持続可能な地域雇用を実現をめざす。				
対象者	市内事業所・就職希望者	対象者数	1,959	単位あたりコスト	3.5
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	3,587		2,923		3,411		3,355						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		3,587		2,923		3,411		3,355						
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	664		229		0		0						
	② 国支出金	229		114		473		445						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	2,694		2,580		2,938		2,910						
決 算 情 報	① 流充用額	0		0		0		0						
	② 配当予算	3,587		2,923		0		0						
	③ 執行額	3,231		2,694		0		0						
	④ 執行率	90.1%		92.2%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.98	/	0.00	0.53	/	0.00	0.53	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	7,840		4,240		4,240		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		11,071		6,934		4,240		0						
主 な 利 用 特 財 (N－1年度実績値)		特財名称	ふるさと就職おうえん事業基金繰入		種 類	基金繰入金		実績金額	2,580		決算付属資料	40		頁
			ふるさと就職おうえん事業(地方創生推進交付金)			商工費国庫補助金			114			20		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	就職内定者数	人	85/40	36 / 40	21 / 40	/ 40	40
	ワークショップ参加高校生数	人	235/150	184 / 150	276 / 150	/ 150	150
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	就職面接会参加企業数	社	443/160	429 / 160	235 / 160	/ 160	160
	単位あたりコスト		7.5	7.5	11.5		
	就職面接会参加者数	人	776/250	498 / 200	369 / 200	/ 200	200
	単位あたりコスト		4.3	6.5	7.3		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	持続可能な地域の実現には、雇用の定着、促進、安定化が必要不可欠である。若者の都市部への流出や事業所の人材不足に加え、昨今では新型コロナウイルス感染症の影響により経済が停滞し有効求人倍率も低下するなど市内の雇用情勢は日々変動しており、これらに即応する多角的な支援が必要である。 求職者のスキル向上をめざしたセミナーや事業所と求職者のマッチング機会となる大規模イベントの開催、各種制度紹介などによる定着支援を行うなど、国や府、商工会議所、商工会、長田野工業センター、シルバー人材センター等の関係機関が一体となって取り組んでいる本事業は必要性・優先度の高い事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	関係機関で「福知山雇用連絡会議」を組織し、主に福知山市・ハローワーク福知山・京都ジョブパーク・福知山商工会議所の4つの機関が業務を分担し、効率的な業務の推進を図っている。 また、府北部の総合就業拠点である「京都ジョブパーク」が福知山市内にあることから、共催により、市民の就業支援にあたっている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	各種事業が効果的な取組となるよう、福知山管内の毎月の有効求人倍率や全国的な雇用情勢、事業所の動向などを「福知山雇用連絡会議」を構成する各機関で共有している。 また、イベント開催時には、参加事業所に面談者における内定者人数の報告を求めており、各事業がどれほどの就職内定につながったかを正確に把握するよう努めている。同時に、参加者・事業所の両者にアンケートを行うことで両者のニーズを把握し、事業実施に反映させている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、従来の対面式ではないオンライン上での合同企業説明会を複数回開催した。開催回数を重ねるごとに、参加事業所のオンライン面談への慣れや習熟度の高まりがみられ、遠隔地のUIターン希望者への情報発信や時間や場所に限定されない採用・就職活動ができるオンラインという新たな手段の活用可能性を見出すことができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	近年のイベント開催時には参加者数が参加事業所数を下回ることが多く、参加者数を増加させるための広報手段、事業内容の見直しが求められている。市内求職者に加え、市外からのUIターン希望者にも魅力的な情報を届けられるよう、京都ジョブパークや近隣市、移住定住関連事業との連携をさらに深めていく。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名: —) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)			

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	勤労者住宅融資制度利子補給事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	320205	款	05 労働費		項	01 労働諸費		目	01 労働諸費		会計	01 一般会計	決算付属資料	160	頁
施策体系	施策コード	060402	施策名	働きやすい環境づくりを促進する												
計画期間	開始年度	平成5年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等	福知山市勤労者住宅資金融資要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市に居住または居住しようとする勤労者に対し、住宅の新築、購入等を行うための資金の一部を低利かつ長期に融資することにより、住生活の向上を図り、若者の定住を促進する。				
対象者	本市居住又は居住しようとする勤労者	対象者数	2	単位あたりコスト	84.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	42		22		2		1		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
	小計(①～③)	42		22		2		1		
予算財源内訳	① 一般財源	42		22		2		1		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0		
	② 配当予算	42		22		0		0		
	③ 執行額	20		8		0		0		
	④ 執行率	47.2%		36.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.02	/	0.00	0.02	/	0.00	0.02	/	0.00
	② 概算人件費	160		160		160		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		180		168		160		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	利用者数	人	6	4 / 0	4 / 0	/ 0	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	新規利用者数	人	0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
	単位あたりコスト						
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	現在の低金利社会において、近年新規の制度利用者はなく、現利用者の利子補給を行っているのみである。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	融資申し込み、審査、実行、返済、回収、利息計算にいたるまで近畿労金で実施されている。本市は債務者の債務残高平残に対する利息相当額を、近畿労金より請求を受け、年に1回支給している。債務者は通常の融資の事務手続きを経ることで支払利息をおさえることができ、本市では各債務者との直接的な事務手続きがないことから、効率的に低コストで実施している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	現在の低金利社会において新規の利用者がいない状況である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	現在は低金利社会であるため、新規制度利用者がいないが、制度利用者がいる限り継続して事業を行う必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	新規の制度利用者が無い状況が10年以上続いているが、制度利用者がいる間は継続して事業を行い、勤労者の生活支援に寄与する。平成31年度に新規受付を中止する要綱改正を行った。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	労働組合関連事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	山田 信義						
会計情報	事業コード	320203	款	05 労働費		項	01 労働諸費		目	01 労働諸費		会計	01 一般会計	決算付属資料	160	頁
施策体系	施策コード	060402	施策名	働きやすい環境づくりを促進する												
計画期間	開始年度	昭和35年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	労働組合活動等を支援することで、勤労者の安全で快適な労働環境や生活環境の改善につなげるとともに、若者の定住促進やボランティア活動の推進などにより地域活力の向上に寄与する。				
対象者	市内労働団体	対象者数	4,476	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,823		1,598		1,532		1,522				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		1,823		1,598		1,532		1,522				
予算財源内訳	① 一般財源	1,653		1,371		1,305		1,238				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	170		227		227		284				
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0				
	② 配当予算	1,823		1,598		0		0				
	③ 執行額	1,410		1,140		0		0				
	④ 執行率	77.3%		71.3%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.07	/	0.00	0.27	/	0.00	0.27	/	0.00		
	② 概算人件費	560		2,160		2,160		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,970		3,300		2,160		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地建物貸付収入			種類	財産貸付収入	実績金額	227		決算付属資料	34	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	労働組合組合員数	人	4574/5000	4736 / 5000	4476 / 5000	/ 5000	5000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	労福協事業推進に係る会議	回	10	8 / 8	8 / 8	/ 8	8
	単位あたりコスト		185.6	176.2	142.5		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	労働団体等の健全な活動を支援することにより、勤労者全体の福祉の向上及び就労環境の改善並びに労働者の地位向上を図り、地域を支える人材の確保に寄与する。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	補助金の額は漸減させており、団体でもコスト削減に努力されている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	勤労者全体の福祉及び資質向上のための取組みや、ボランティア活動の実施などにより、地域社会に貢献している
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	勤労者全体の福祉の向上及び労働環境の改善、地域活力の維持・向上を推進していくため、労働団体等の活動に対し必要な支援を行った。労働会館の維持管理ができた。これまで無償で貸し付けていた労働会館について、平成29年度から賃貸借料を徴収することとした。ただし、経過措置として、平成29年度は80%減免、平成30年度は60%減免、平成31年度は40%減免、令和2年度は20%を減免する。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成30年度から労働会館維持管理事業と事業統合し、事業を実施している。補助金を交付してきた4つの労働組合のうち、2つの労働組合については、労働組合側の申し出により、平成29年度から補助金額の減額を行っている団体と補助金を交付しないこととした団体がある。活動状況等の確認により大幅な削減が難しい労働組合への補助金については、平成30年度は2.5%のマイナスシーリングを行った。1つの組合については平成31年度から補助金を交付しないこととした。勤労者全体の福祉の向上及び労働環境の改善、地域活力の維持・向上を推進していくため、今後においても労働団体等の活動状況等を十分に確認し、適正に必要な支援を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	労働団体の活動状況を踏まえた適切な支援を引き続き行う。 労働会館管理については老朽化もあるため必要に応じて計画的に修繕を行っていく必要がある。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	企業交流促進事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	山田 信義						
会計情報	事業コード	320104	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060202	施策名	既存産業を活性化する												
計画期間	開始年度	平成9年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地立地企業と工業団地以外の企業の結びつき及び交流の促進、企業間の交流、情報交換、受発注の醸成等を目的として実施される福知山企業交流会の活動を支援し、市内企業同士の受発注の活発化等を図ることにより企業活動の活性化、地域の発展につなげる。					
対象者	会員企業		対象者数	106	単位あたりコスト	11.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	540		540		540		540			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		540		540		540		540			
予算財源内訳	① 一般財源	270		270		540		540			
	② 国支出金	270		270		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0			
	② 配当予算	540		540		0		0			
	③ 執行額	540		540		0		0			
	④ 執行率	100.0%		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.12	/	0.00	0.08	/	0.00	0.08	/	0.00	
	② 概算人件費	960		640		640		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,500		1,180		640		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	企業交流促進事業(地方創生推進交付金)		種類	商工費国庫補助金		270		20	頁
						実績金額			決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	受発注(市内発注/長田野総発注)	%	24/25	21 / 25	19 / 25	/ 25	25
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	受発注懇談会、視察等の参加者数	人	74/145	60 / 145	40 / 110	/ 106	140
	単位あたりコスト		8.1	9.0	13.5		
	受発注懇談会、視察等の開催	回	0.5	2 / 2	1 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		300.0	270.0	540.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	受発注懇談会や研修会など、市内事業者と長田野工業団地企業が定期的に情報交換を行う場を創出することで両者の信頼構築・受発注率向上が期待されるため、会員企業のニーズや補助金のあり方について検討を続けながら今後も事業を継続する必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	活動内容を鑑み随時補助金額の見直しを行っており、現状のコストは妥当であるといえる。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	企業交流会の活動内容がどの程度受発注率の向上や企業間の交流促進に寄与しているか、活動内容と成果指標の随時見直しが必要である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	近年活動内容の大幅な見直しが行われていなかったが、令和2年度においては福知山公立大学から講師を招き、産官学連携をテーマに事例を交えた講演会を実施するなどの新たな取組を実施した。閉会後には大学と事業者及び事業者同士の活発な交流がみられ、両者の継続的な関係性の構築につながった。		
これまでの課題及び今後の方向性	会員企業のニーズや補助金のあり方について随時見直しを続け、企業交流会がどの程度受発注率の増加に寄与しているのか、効果検証について検討する必要がある。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名: —) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)			

(単位：千円)

事業名	商工・産業政策事務管理事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課					所属長	山田 信義					
会計情報	事業コード	320102	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務の事業 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業	-												

事業目的 (あるべき姿)	福知山市の商工業振興及び産業の発展、各事業の円滑な推進、産業政策管理事務の適切な運営。				
対象者	市民	対象者数	76,964	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()				
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス株式会社				
事業概要 (箇条書き)	・福知山市の商工業振興及び産業の発展、各事業の円滑な推進のための事務的経費。 ・その他産業政策管理業務に係る事務的経費。				
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容		
	旅費・需用費	1,604	消耗品費、電気代		
	役務費・委託料	1,058	郵送料、電話代 等		
	使用料及び賃借料	819	複合機使用料、高速道路通行料		
	備品購入費	49	ホワイトボード購入費		
	公課費	8	自動車重量税		

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	4,779		3,855		3,738		5,354				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		4,779		3,855		3,738		5,354				
予算財源内訳	① 一般財源	4,729		3,855		3,699		5,335				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	50		0		39		19				
決算情報	① 流充用額	△ 155		141		0		0				
	② 配当予算	4,624		3,996		0		0				
	③ 執行額	3,440		3,538		0		0				
	④ 執行率	74.4%		88.5%								
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.22	/	0.20	0.09	/	0.20	0.09	/	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,260		1,220		1,220		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,700		4,758		1,220		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3		最終目標
				/	/	/		
				/	/	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3		最終目標
	経済講演会の実施	回	0	2 / 2	1 / 2	/	2	2
	単位あたりコスト		0.0	1720.0	3538.0			
				/	/	/		
	単位あたりコスト							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	必要物品等を滞りなく用意することにより、産業政策部内の運営に貢献した。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	事務管理的経費として、一括管理ができることで、各事業の事務処理を円滑に行えることができた
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	事務管理的経費として、各事業の円滑な推進に寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	商工業振興及び産業振興を推進するための事務については最小の経費で実施している。本事業により、その他の各事業が円滑に行えている。 【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	平成31年度より、課内管理事業と部内管理事業を統合し「商工・産業政策事務管理事業」として実施している。今後も事務管理的経費を一括管理することにより合理的な事務執行を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	(仮称)福知山鉄道館ポッポランド建設事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	山田 信義						
会計情報	事業コード	310258	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する												
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	鉄道のまちの歴史継承及び観光誘客の拠点として(仮称)福知山鉄道館ポッポランドを建設する。					
対象者	市民及び観光客		対象者数	946,618	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0		37,877		44,950		661,408				
	② 補正予算	108,000		100,000		0		0				
	③ 繰越予算	0		△ 35,451		35,451		0				
	前年度繰越	0		0		35,451		0				
	次年度繰越	0		△ 35,451		0		0				
小計(①～③)		108,000		102,426		80,401		661,408				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		9,950		108,408				
	② 国支出金	0		0		17,500		190,000				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		233,000				
	⑤ その他特財	108,000		102,426		52,951		130,000				
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0				
	② 配当予算	108,000		102,426		0		0				
	③ 執行額	107,890		102,412		0		0				
	④ 執行率	99.9%		100.0%								
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.70	/	0.00	0.70	/	0.00	0.70	/	0.00		
	② 概算人件費	5,600		5,600		5,600		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		113,490		108,012		5,600		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	きょうと地域連携交付金		種類	商工費府補助金		1,187		決算付属資料	30	
			地域振興基金繰入金			基金繰入金		10,324			40	
			福知山鉄道館ポッポランド(仮称)整備事業等浅田基金繰入金			基金繰入金		9,119			42	
												頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	設計完成	回	0	0 / 0	0 / 1	/ 1	1
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	関係者協議回数	回	0	0 / 0	8 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト				12801.5		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	「福知山鉄道館ポッポランド1号館の早期開設を求める請願」(平成29年度)の採択、福知山鉄道館ポッポランドあり方検討委員会での移設再開に関する提言提出(平成30年度)、個人の篤志家からの負担付寄附が議会で承認されるなど、市民や社会のニーズが高く、優先度の高い事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	民間及び大学等への業務委託を行うなど、専門的な知見の活用及び経費抑制等による効率化を図っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	令和4年度中の建物完成に向けて、令和3年度中の設計完成は理にかなっている。多様な関係者から意見をいただきながら設計を進めており、また、民間及び大学等への業務委託を行うなどにより外部の知見の活用を図っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和4年度中の建物完成に向けて、令和2年度に引き続き建設予定地変更に伴う公共嘱託登記業務や、新築工事に伴う設計業務を行っている。		
これまでの課題及び今後の方向性	新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の発令期間中は、関係団体等との意見交換・説明等が実施できないため、事業の進捗に影響が出ている。 業務委託の活用や工程の管理(見直し)に努めながら令和4年度中の建物完成を目指す。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	令和4年度内の完成を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により関係者協議が停滞したこと及び展示内容の検討に時間を要したこと等により事業の進捗に影響が出ている。 そのため、完成・開館を令和5年度とし、令和4年度中は工事を進めながら、運営方法や体制、展示内容等の詳細を検討していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	310256	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化化する												
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画										
根拠法令等	空き家・空き店舗等ストックバンク制度要綱、空き店舗等対策支援事業補助金交付要領、中心市街地テナントミックス推進事業補助金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	空き家、空き店舗が増え、空洞化が進む中心市街地において、不動産の流通を促進し、まちなかでの居住・開業の推進による居住人口の増加と商業活性化を図る。				
対象者	まちなかへの移住・開業希望者		対象者数	不特定多数	単位あたりコスト
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	7,700	8,959	8,386	53,386				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)		7,700	8,959	8,386	53,386				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	30,000				
	③ 府支出金	3,850	4,479	4,193	11,693				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	3,850	4,480	4,193	11,693				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	7,700	8,959	0	0				
	③ 執行額	7,076	8,591	0	0				
	④ 執行率	91.9%	95.9%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.17 / 0.00	0.14 / 0.00	0.14 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,360	1,120	1,120	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,436	9,711	1,120	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金		種類	商工費府補助金	実績金額	4,246	30	頁
		地域振興基金繰入金			基金繰入金		4,303	40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	新店舗開業数(年)	件	4/4	4 / 5	5 / 5	/ 5	5
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	新規登録物件数(年)	件	3/10	8 / 10	9 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		2628.7	884.5	954.6		
	新規利用登録者数(年)	人	16/20	13 / 20	10 / 20	/ 20	20
	単位あたりコスト		492.9	544.3	859.1		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	中心市街地において増加する空き家・空き店舗等の活用を促進することは、不良空き家・空き店舗等の増加を防ぎ、景観の維持・改善も通じた住環境の向上によるまちなか居住の推進に繋がるほか、新規開業支援などにより商業振興が図られるなど市民・社会ニーズに合致し、優先度の高い事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	福知山まちづくり株式会社と連携して事業を実施することで、専門的に取り組む人材を確保し、事業の遂行にあたることができている。 駅正面通り商店街での福知山フロント(株)による独自の取組による成果も著しく、スモールエリア毎でのエリアマネジメントによる遊休不動産の流動化の手法についても検討していく必要がある。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	新規物件の掘り起こしを行い、登録件数及び成約件数を効果的に伸ばすことが課題となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	中心市街地における空き家・空き店舗等の不動産の流動化を進める上で、新規物件の獲得、福知山まちづくり株式会社による情報発信や空き家を活用したイベント等の開催を通じて、まちなかへの移住や開業に対するニーズを喚起できている。空き家を活用したイベントの実施やストックバンクを活用して開業した店舗を紹介するチラシの作成を行う等、ストックバンク制度の周知及び新規物件と新規利用希望登録者の掘り起こしに努めた。		
これまでの課題及び今後の方向性	自治会との連携、物件所有者や利用希望者への情報提供や遊休不動産の流動化に向けた啓発を行い、物件登録件数の増加と積極的な利用を促すことが必要。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	引き続き、中心市街地の空き家・空き店舗の活用を推進すると共に、店舗改修補助を通して新店舗の開業を支援し、新たなターゲット層の集客及び中心市街地の誘客・回遊に繋げる。R2年度は本事業を活用して5店舗の開業に繋げた。R4年度も4店舗の新規開業を見込む。 【H30棚卸しによる見直し状況】 日報作成や協議を月1回行い、業務の適正で効果的な執行に努めている。特に、新規物件掘り起こしのために、空き家の情報収集や調査、物件所有者への広報に力を入れている。また、ストックバンクの空き店舗等を活用して開業される事業者に対し、補助金の申請支援や開業後の広報支援等、フォローも行っている。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	310252	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化化する												
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画										
根拠法令等	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業補助金交付要領															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地方の商店街は、いずれの地域も郊外型やロードサイドへの大型店の進出、後継者難や店主の高齢化等により個店だけでなく組織としても新たな投資が困難となっている所が増加している。このため、従来にない公民協働の新たな事業モデルを戦略的に組み立て実施することで地域経済全体の循環を促し、中心市街地の賑わいと交流人口の倍増を図る。				
対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,000		6,000		6,000		6,000					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
	小計(①～③)	4,000		6,000		6,000		6,000					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	2,000		3,000		3,000		3,000					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	2,000		3,000		3,000		3,000					
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	4,000		6,000		0		0					
	③ 執行額	4,000		6,000		0		0					
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.25	/	0.00	0.19	/	0.00	0.19	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,000		1,520		1,520		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,000		7,520		1,520		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	きょうと地域連携交付金		種類	商工費府補助金		実績金額	2,966		決算付属資料	30	
			地域振興基金繰入金			基金繰入金			3,000			40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	駅正面通りの歩行者・自転車の通行量	人	864/727	894 / 740	357 / 755	/ 755	755
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	駅正面通りでの新規開業数	件	7/10	8 / 10	12 / 10	/ 14	10
	単位あたりコスト		856.9	500.0	500.0		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	駅正面通りリニューアル事業は、第2期中心市街地活性化基本計画の主要事業の1つであり、駅正面通りの有志で設立された福知山フロント(株)と一体となり、着実に推進していく必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	定例会議で情報を共有し、同社主導による官民連携により効率的に事業を遂行している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	福知山フロント(株)の取り組みにより、当該エリアへの民間投資が活発化しており、有効性が高い事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	駅正面通り商店街(周辺含む)の空き店舗等の調査、ゲストハウスや飲食店の開設に取り組んできた。令和2年度においては、4件の新規開業を誘致したとともに、計画段階から施主及び開発企業との協議に参画していた駅前低未利用地の活用によるマンション建設が令和3年2月に竣工した。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後は、これまでの事業の認知度をあげることで、空き店舗所有者の理解・協力のもと、更なるテナントの誘致を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	駅正面通り商店街振興組合が、中心市街地活性化のため意欲ある有志との共同出資により平成27年度に設立した福知山フロント株式会社は、同商店街を拠点に空き店舗等の状況調査及び利活用を提案し、飲食店やゲストハウス等を開発・誘致するとともに、広域的な地域資源の活用によるインバウンド観光等の促進にも取り組んできた。 主体的に誘致したマンションの建設により新たな人の流れが生まれており、令和4年度も引き続き事業を支援していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山パーキング管理事業																
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	310247	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁	
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する													
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-											
根拠法令等	-																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 ()																
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合																
関連事業	城下町福知山・まち歩き観光促進事業																

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	中心市街地の大型駐車場である福知山パーキングの維持管理を適切に行うことで、市民や来街者が円滑に駐車することができるようにし、まち歩きやまちなか観光を促進させ、中心市街地の活性化を図る。				
対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,147		1,968		2,036		5,088		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		2,147		1,968		2,036		5,088		
予算財源内訳	① 一般財源	620		441		553		3,605		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	1,527		1,527		1,483		1,483		
決算情報	① 流充用額	0		292		0		0		
	② 配当予算	2,147		2,260		0		0		
	③ 執行額	2,101		2,259		0		0		
	④ 執行率	97.8%		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.12	/	0.00	0.12	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	960		960		960		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,061		3,219		960		0		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3		最終目標
	広小路通り歩行者自転車通行量	人	579/884	533 / 900	776 / 917	/	917	917
			/	/	/	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3		最終目標
	パーキング利用台数	台	42,917/44,000	40,924 / 41000	29,913 / 41000	/	41000	41000
	単位あたりコスト		0.1	0.1	0.1			
	単位あたりコスト			/	/	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	広小路界隈、御霊公園など中心市街地の回遊の拠点となる重要な駐車場である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	計画的に修繕や管理機器の賃貸借をすることで、コスト削減や効率化が図られている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	計画的に機器の更新や施設修繕等を実施していくことで、施設利用者の利便性の向上につながる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による厚生会館等のイベント自粛で、駐車台数の減少が見られたが、まち歩き観光促進事業の周知を図り、利用台数の増加に努めた。 施設の老朽化に伴う事務所やトイレの雨漏りについては、必要に応じて修繕を実施し、施設の維持管理に努めている。		
これまでの課題及び今後の方向性	まち歩き観光促進事業の協力店舗と連携し、来店者への積極的な周知を図り、更なるパーキング利用者増加と店舗の集客増に繋げる。 また、周辺イベントの開催を促し、まちなかの賑わい創出やパーキング利用者増を図る。 施設利用者の利便性向上のため、必要に応じて修繕等を行い、適切な維持管理に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	まちなか回遊拠点のひとつであり、まち歩き観光促進事業等により利用増進に努めながら、公益性の高い施設として引き続き運営していく。 令和4年度は、施設の長寿命化を図るため、平成27年度の南側と平成30年度の東側・西側に続き、残る北側の鉄骨等塗装修繕を実施し、さらに、脱炭素に寄与するため照明のLED化を進める。また、令和3年度末をもって自動精算機のリース期間が終了するため、今後は、本機器を市の所有機器として管理していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	街なみ環境整備事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	310243	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する												
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画										
根拠法令等	福知山市街なみ環境整備事業補助金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地域資源を活かした魅力ある街並みを形成することで、まちなかへの誘客・回遊を促すとともに来訪者や居住者の増加を図る。				
対象者	対象地域で建物の外観修景を行う者	対象者数	3	単位あたりコスト	1,378.0
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	9,180		4,400		0		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
	小計(①～③)	9,180		4,400		0		0		
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	3,700		2,200		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	5,480		2,200		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0		
	② 配当予算	9,180		4,400		0		0		
	③ 執行額	6,110		3,174		0		0		
	④ 執行率	66.6%		72.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.27	/	0.00	0.12	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,160		960		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,270		4,134		0		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金			種類	基金繰入金		1,874		40
		社会資本整備総合交付金				商工費国庫補助金		1,300		
					実績金額			決算付属資料		20

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	歴史・文化交流施設入館者数	人	386,774/377,470	460713 / 384592	392,827 / 390000	/	390000
	歩行者・自転車通行量	人	3,330/4,103	4052 / 4181	3,976 / 4200	/	4200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	修景実施件数	件	42/45	43 / 45	45 / 57	/	57
	単位あたりコスト		0.0	142.1	70.5		
			/	/	/	/	
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	令和元年度より新たに街づくり協定の承認をおこなった駅正面周辺地区で事業を実施した。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	地元住民により定められた街づくり協定に基づく景観整備に対して支援を行うことにより、市民独自の投資も促されることで効率的な街なみの形成と維持・向上が図られる。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	福知山フロント株式会社等と連携し、常に地元の動向を把握しながら事業を展開している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	駅正面周辺地区では、令和元年度より街づくり協定に従った景観形成が行われ、事業を実施している。事業の実施及びテナントミックスによる新規開業等により、中心市街地活としての集客力や魅力のある生活・交流空間の創出が図られた。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度から対象地域となる駅正面周辺地区では、福知山フロント株式会社によるテナントミックス推進事業により平成28年度からの令和2年度まで12店舗が開業しており、本事業により既存店舗の投資を喚起するなど、商業地域に相応しい景観の形成を公民連携により推進する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	中心市街地活性化基本計画の5か年計画が令和2年度で終了したことに伴い、本事業についても令和2年度で廃止。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	城下町福知山・まち歩き観光促進事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	310226	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	180	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画							
根拠法令等	-												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	まちなか観光ルートの拠点でもある広小路界隈周辺には無料の駐車場がなく、ゆっくりまち歩き観光や買い物等を楽しむことができないため、既存の御霊公園福知山パーキングの駐車料金を一定時間無料化することで、まちなかへの来街の動機付けと滞在時間の延長を促し、まちなかの回遊性の強化と賑わいの創出を図る。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	946,618	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (負担金)					
委託先・実施主体等	福知山まちづくり株式会社					
事業概要 (箇条書き)	福知山まちづくり株式会社が運営する御霊公園福知山パーキングの駐車料金の一定時間を無料化するための経費を負担した。駐車料金の最初の30分を無料化するための経費のうち、市が1/2(5/10)、福知山まちづくり会社が3/10、協力店が2/10を負担。30分100円無料、負担割合：市50円(5/10)・まち会社30円(3/10)・協力店20円(2/10)					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容			
	負担金補助及び交付金	709	城下町福知山・まち歩き観光促進事業負担金			

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予 算 情 報	① 当初予算	753		965		684		696			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
		前年度繰越	0		0		0		0		
		次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		753		965		684		696			
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	0		1		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	376		482		342		348			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	377		482		342		348			
決 算 情 報	① 流充用額	0		0		0		0			
	② 配当予算	753		965		0		0			
	③ 執行額	682		709		0		0			
	④ 執行率	90.6%		73.5%							
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.11	/	0.00	0.07	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	880		560		560		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,562		1,269		560		0			
主 な 利 用 特 財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金			種 類	商工費府補助金	実績金額	350	決算付属資料	30	頁
		地域振興基金繰入金				基金繰入金		328		40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	広小路通り歩行者自転車通行量	人	579/884	533 / 900	776 / 917	/ 917	917
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	パーキング利用台数	台	42,917/44,000	40,924 / 42,000	29,913 / 41,000	/ 41,000	41,000
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		
	まち歩き事業利用率	%	33/40	36 / 40	49 / 40	/ 40	40
	単位あたりコスト		16.1	19.0	14.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	中心市街地活性化の推進に、重要な役割を担う広小路界隈への来訪者増加を図ることで中心市街地のにぎわい創出や商業の活性化につながる。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	利害関係者である福知山まちづくり株式会社及び協力店舗に一部負担を求める形で協力を仰ぎ、市の負担の減少につながっている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	参加店舗による広報など、官民連携により中心市街地への誘客を図ることができている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	継続して事業を実施することで広小路界隈への観光客や買い物客の誘客を図るとともに、まちなかの活性化につなげるものである。H30年度5月から事業の実施形態を変更し、他のステークホルダーにも負担を求めることで、市の単独負担を是正した。さらに、無料券の発行を店舗で行うようにしたことで、本制度の利用率や利用者がどこを訪れたのかが確認できるようになり、効果的な事業の実施や検証につながる形で実施できている。		
これまでの課題及び今後の方向性	さらに利用率向上のため、協力店舗数の拡大を図る。新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、周辺でのイベント開催の促しや店舗の集客増を図る。協力店舗と連携し、来店者へ本制度のさらなる周知を図り、利用者増を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	継続して事業を実施することで、観光客や買い物客の広小路界隈への誘客を図り、まちなかの活性化につなげるものである。 令和3年度は、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用が低迷しているが、緊急事態宣言が解除された10月以降は、厚生会館でのイベントも徐々に開催され、駐車場の利用も回復傾向にある。今後、引き続き回復することを見込みながら、令和4年度も適正な管理運営を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	まちづくり会社活動支援事業																
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義								
会計情報	事業コード	310219	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁	
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する													
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画											
根拠法令等	福知山まちづくり株式会社事業支援補助金交付要領																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (																

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	中心市街地活性化法に基づく法定構成員である福知山まちづくり株式会社が、中心市街地活性化基本計画に係る各事業を着実に推進すること目的に、その実施事業に対して支援を行う。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	946,616	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,847	1,817	1,777	1,808				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)		1,847	1,817	1,777	1,808				
予算財源内訳	① 一般財源	816	780	781	797				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	815	821	780	795				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	216	216	216	216				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	1,847	1,817	0	0				
	③ 執行額	1,847	1,817	0	0				
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.18 / 0.00	0.19 / 0.00	0.19 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,440	1,520	1,520	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,287	3,337	1,520	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金		種類	商工費府補助金	実績金額	898	30	
		まちづくり会社配当金			利子及び配当金		216	36	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	ゆらのガーデン・広小路テナントミックス店舗数	軒	12/12	12 / 12	12 / 12	/ 12	12
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	出店者協議会回数	回	11/12	9 / 12	3 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		173.6	205.2	605.7		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	福知山市中心市街地活性化基本計画終了後も、福知山まちづくり櫛が商店街及び市民グループ等の関係団体と連携を図る体制を支援する必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	福知山市中心市街地活性化基本計画を通じて、各商店街等のスモールエリアでのエリアマネジメントの取組が生まれている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	中心市街地活性化に向けた先導的な取組として実施したゆらのガーデン及び広小路でのテナントミックス事業において、出店店舗数の維持と共に、手法の普及及び更なる民間投資の喚起等へと繋げていくことで事業の有効性を高めていきたい。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、会議及びイベントの開催等は自粛となったが、情報共有は逐次行い、ゆらのガーデンや広小路商店街等店舗の広報支援を行い、集客増に繋がった。		
これまでの課題及び今後の方向性	第2期中心市街地活性化基本計画の中核的な実施主体の1つである福知山まちづくり櫛を引き続き指導・支援することで、継続的に中心市街地活性化を図る必要がある。 第2期中心市街地活性化基本計画が終了することに伴い、福知山まちづくり櫛が実施する事業効果の検証等を行い、来年度以降の実施事業及び体制を検討する。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	中心市街地活性化基本計画に基づく事業の推進に対して福知山まちづくり(株)に支援を行ってきたが、令和2年度末をもって計画が終了したことに伴い、令和3年度から支援内容を見直し、同社が民間ならではのスピード感と培ってきたネットワークを活かして実施する、まちなかの賑わい創出及び魅力向上を目的とした事業に対し支援することとした。 同社が運営管理する「ゆらのガーデン」や「広小路商店街のテナント」は、まちなかの集客・交流の中核的存在であることから、引き続き、ゆらのガーデン出店者協議会やガーデニングサークル、商店街等関係団体と連携しながら事業展開を図る。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名: —) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)			

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中心市街地活性化基本計画推進事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	山田 信義						
会計情報	事業コード	310212	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する												
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画										
根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	中心市街地活性化基本計画に掲載している事業について、商工会議所等の関係団体並びに市民グループ等と連携を図りながら着実に実行し、中心市街地の活性化につなげる。 また、中心市街地活性化基本計画において整備された拠点や商店街等の賑わい、活性化状況の調査を通じて関連事業の成果の検証及び改善に繋げる。 また、福知山鉄道館ポッポランド2号館及び旧新町文化センターの適切な維持管理を行う。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	946,616	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	9,274		10,028		0		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		9,274		10,028		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		3,828		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	3,229		3,100		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	6,045		3,100		0		0			
決算情報	① 流充用額	△ 685		△ 439		0		0			
	② 配当予算	8,589		9,589		0		0			
	③ 執行額	7,955		9,185		0		0			
	④ 執行率	92.6%		95.8%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.45	/	0.00	0.30	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	3,600		2,400		0		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		11,555		11,585		0		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	きょうと地域連携交付金			種類	商工費府補助金		2,801		30	頁
		地域振興基金繰入金				基金繰入金		2,787			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	歩行者・自転車通行量	人	3,330/4,115	4052 / 4160	3976 / 4200	/ 4200	4200
	歴史・文化交流施設入館者数	人	386,774/377,470	460713 / 384592	392827 / 390000	/ 390000	390000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	中心市街地活性化基本計画掲載事業着手数	事業	44/46	45 / 46	45 / 46	/ -	46
	単位あたりコスト		183.9	176.8	204.1		
	歩行者・自転車通行量調査	回	1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		8091.0	7955.1	9185.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	平成23年度から2期・10年間取り組んだ福知山市中心市街地活性化基本計画の計画期間終了に伴い事業名は変更するが、衰退する中心市街地を活性化するため、個別の内容については引き続き市民・民間企業・行政が一体となって取り組んでいく必要がある重要な事業である。 通行量調査により定点観測を継続することで、その成果を把握することができるほか、今後の活性化施策の検討にも活かすことができ必要性が高い事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	経験・知見をもった事業者に業務委託することで、コスト削減及び効率的な事業遂行を図っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	5年間と限られた期間で中心市街地活性化基本計画の各事業を着実に推進するため、官民が協働で事業の企画・運営等を推進していくことが出来ており有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山市中心市街地活性化基本計画では、市民・民間企業・行政が一体となって、定量的な指標を共有し、各事業の連携を図りながら推進してきた。 本事業による通行量調査や中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク制度等のように行政で多様なデータを把握・公開していくことが、民間主導によるまちづくりを推進していく上で重要である。		
これまでの課題及び今後の方向性	行政で多様なデータを収集・有効活用し、施策の立案・改善、民間投資の喚起などに繋げていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	令和2年度末をもって第2期中心市街地活性化基本計画が終了したことに伴い、令和3年度より、事業名をまちなか賑わい推進事業に変更した。 ポッポランド2号館の維持管理及び通行量調査については、引き続き実施しており、また、休館中のポッポランド1号館が設置されている新町文化センターの維持管理は、令和3年度より同事業に組み込んで実施している。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	福知山城憩いの広場(ゆらのガーデン)管理事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	310202	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する												
計画期間	開始年度	平成24年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画								
根拠法令等	福知山城憩いの広場条例、福知山城憩いの広場条例施行規則															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	出店者協議会や市民参加のガーデニングサークルと連携を図りながら官民協働での維持管理を行う。また、中心市街地への回遊の拠点として、市民や来街者が憩える場を提供するとともに、まちなかの活性化につなげる。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	946,616	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,758		3,811		3,820		3,999		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
	小計(①～③)	3,758		3,811		3,820		3,999		
予算財源内訳	① 一般財源	3,669		3,361		2,995		2,797		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	89		450		825		1,202		
決算情報	① 流充用額	357		0		0		0		
	② 配当予算	4,115		3,811		0		0		
	③ 執行額	4,026		3,456		0		0		
	④ 執行率	97.8%		90.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.40	/	0.00	0.20	/	0.00	0.20	/	0.00
	② 概算人件費	3,200		1,600		1,600		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,226		5,056		1,600		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱等占用料			種類	商工使用料		実績金額	139	10
		福知山城憩いの広場使用料				商工使用料		605	決算付属資料	10
										頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	来場者数	人	124,865/140,000	166,906 / 140000	129,800 / 140000	/ 140000	140000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	ガーデニングサークル活動参加人数	人	198/220	217 / 220	128 / 220	/ 220	220
	単位あたりコスト		18.5	18.6	27.0		
	広場利用回数	回	10/12	9 / 12	0 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		366.0	447.3			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	市民参加型サークルと協働で管理することにより、中心市街地への回遊の拠点として、中心市街地活性化と福知山の魅力発信につながる必要不可欠な事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	官民協働で維持管理を行うことで効率的に事業が実施できており、街のシンボルとなるべくより多くの市民や来街者に憩える場が提供できている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	福知山市中心市街地活性化基本計画ファーストプロジェクトであり、広場の活性化を図ることは、中心市街地への回遊の拠点であるため、有効な事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	委託業者により、清掃及び植栽選定が実施され、適切な維持管理が図れている。 また、市民参加のガーデニングサークルとの協働により、広場全体の植栽管理やゲートのリース作成等で、中心市街地の活性化の拠点として整備するとともに、観光客等へのおもてなしにも努めている。特に、大河ドラマの影響による観光客の増加を見込み、光秀をモチーフとしたリースの作成や花の充実等を行い、広場の魅力向上を図った。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の発令等により、各指標の実績値が大幅に減少した。		
これまでの課題及び今後の方向性	市、ガーデニングサークル、福知山まちづくり会社及び ゆらのガーデン出店者協議会が連携し、今後も適切な維持管理を継続する。また、出店者協議会や福知山まちづくり株式会社と連携し、福知山城の来館者を広場の来場につなげ、広場内テナントへの集客及びまちなかの活性化につなげる。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	福知山城やゆらのガーデンへの来訪者が快適に広場を利用いただけるよう適切な維持管理を行うとともに、ガーデンニングサークルの季節に合わせたリース作成及び花壇整備等により広場の魅力度アップに努める。 市・福知山まちづくり(株)・出店者協議会・ガーデンニングサークルが連携し、広場を活用した企画により集客に繋げる。また、まちなかへ誘導するための情報発信や他施設との連携を検討する。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名: —) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)			

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	雇用調整支援事業											
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課					所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	310181	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	60201	施策名	商業を活性化する								
計画期間	開始年度	R2	終了予定年度	R2	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()											
R3現在の状況	☐ 継続中 ☒ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	国の雇用調整助成金の特例措置を活用した場合に、その自己負担分について独自に助成を行うことで、解雇・雇止め等を防止し、雇用の維持を図る。											
対象者							対象者数			単位あたりコスト		
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けた市内の中小企業が、国の雇用調整助成金の特例措置を活用した場合に、その自己負担分について独自に助成を行う。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	85,100	0	0					
	② 補正予算	△ 85,100	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
	小計(①～③)	0	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0	0					
	② 配当予算	0	0	0					
	③ 執行額	0	0	0					
	④ 執行率								
人 工 算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	/	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	0	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
		件		/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
		件		/	/	/	
	単位あたりコスト						
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	×	国の雇用調整助成金の特例が拡充されたことから、本事業の必要性がなくなった。減額補正し、事業廃止。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか		
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価			
これまでの課題及び今後の方向性			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見極めながら、引き続き、事業者支援や経済活性化等、状況に応じた効果的な事業を検討していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	緊急事態措置協力金市町村負担事業											
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課					所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	310181	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	60201	施策名	商業を活性化する								
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名							
根拠法令等												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()											
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合											
関連事業												

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	国が1月13日に緊急事態宣言を発出したことに伴い、京都府内にある飲食店等に対し、営業時間の短縮が要請された。京都府は時短要請に協力した事業者に対して、「京都府緊急事態措置協力金」を支給することとなり、この協力金に係る市町村負担金を京都府に対して支払う。											
対象者	時短要請対象事業者					対象者数	424		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()											
委託先・実施主体等	府が時短要請に協力した事業者に対して支給する京都府緊急事態措置協力金に係る市町村負担金											
事業概要 (箇条書き)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		主な業務内容								

予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算		0		0		0				
	② 補正予算		42,400		0		0				
	③ 繰越予算		0		42,400		0				
	前年度繰越		0		42,400		0				
	次年度繰越		△ 42,400		0		0				
小計(①～③)		0		42,400		0					
予算財源内訳	① 一般財源		0		0		0				
	② 国支出金		0		42,400		0				
	③ 府支出金		0		0		0				
	④ 地方債		0		0		0				
	⑤ その他特財		0		0		0				
決算情報	① 流充用額		0		0		0				
	② 配当予算		0		0		0				
	③ 執行額		0		0		0				
	④ 執行率										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	/	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費		0		0		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)			0		0		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算付属資料	頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	協力店舗数	件		/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	協力店舗数	件		/	/	/	
	単位あたりコスト						
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	国の緊急事態措置に伴う協力金支払いに係る負担金であり必要性が高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	府で集約して事務処理しており効率性が高い。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	新型コロナ感染症感染拡大対策として、飲食店等の時短営業等は有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	京都府から協力店舗数等の実績数値の報告待ちであるが、制度としては有効に機能していると評価する。		
これまでの課題及び今後の方向性	新型コロナの感染拡大の状況により適切な対策を講じる必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見極めながら、引き続き、事業者支援や経済活性化等、状況に応じた効果的な事業を検討していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	福知山市時短要請協力金対象外事業者応援給付金事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	310179	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	60201	施策名	商業を活性化させる									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	国が1月13日に緊急事態宣言を発令し、京都府全域へ飲食店に対する営業時間の短縮やが外出自粛が要請され、特措法に基づく時短要請の対象事業者においては協力金が支給される。 特措法による時短要請の対象から外れる中小企業者・個人事業主に対して給付金を支給することで、市内事業者の経営を支援する。					
対象者	福知山市内の中小企業者・個人事業主		対象者数	920	単位あたりコスト	125.4
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0			
	② 補正予算	0		386,631		0		0			
	③ 繰越予算	0		△ 274,848		274,848		0			
	前年度繰越	0		0		274,848		0			
	次年度繰越	0		△ 274,848		0		0			
小計(①～③)		0		111,783		274,848		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		56		0		0			
	② 国支出金	0		111,727		274,848		0			
	③ 府支出金	0				0		0			
	④ 地方債	0				0		0			
	⑤ その他特財	0				0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0			
	② 配当予算	0		111,783		0		0			
	③ 執行額	0		111,748		0		0			
	④ 執行率	0.0%		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.45	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	0		3,600		3,600		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		115,348		3,600		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山市時短要請協力金対象外事業者応援給付金事業(地方創生臨時交付金)		種類	商工費国庫補助金	実績金額	111,728	決算付属資料	20	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	支給者数	件		/	307 / 920	/ 920	920
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	支給者数				307 / 920	/ 920	920
	単位あたりコスト				364.0		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経営状況の悪化に対し、素早く支援を実施する必要がある。 令和3年2月より受付を開始しており、早期支援を行っている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	担当職員の増員により、申請後1か月以内の支給を行っている。 支払い事務担当課とも協力し、迅速に対応している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	30%以上の売り上げ減少が確認された事業者に対し支給している。 想定件数は直近経済センサスから算出しており、府の時短要請協力金の対象外となる事業者を支援することで、市内の中小企業者を支援している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和3年2月15日の受付開始から令和3年3月31日までの間に336件の申請を受け付けた。 関係団体の周知もあり、受付件数は順調に推移している。		
これまでの課題及び今後の方向性	売上減少の算定期間を令和3年1月から3月としている。 申請期間を令和3年7月31日までと広くすることで、申請者の利便性を確保している。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見極めながら、引き続き、事業者支援や経済活性化等、状況に応じた効果的な事業を検討していく。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☒ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名: ー)		☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	福知山市事業者チャレンジおうえん事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課					所属長	山田 信義					
会計情報	事業コード	310178	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	60204	施策名	起業支援を推進する									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルスの感染拡大により、事業に影響を受けている市内の中小企業や起業予定者に対して、コロナ禍の影響を乗り越えるため、感染防止との両立を図りつつ、社会情勢の変化に対応する取組に対して支援を行う。												
対象者	市内に主たる事業所を有する中小企業等					対象者数	40		単位あたりコスト	452.9			
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山商工会議所												
事業概要 (箇条書き)	業種・業態転換等のコロナ禍における社会情勢の変化に対応するため、設備導入等を実施する事業者に助成金を支給(補助上限1,125千円、事業費上限1,500千円、4分の3補助)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		主な業務内容									
	委託料	16,514		事業者チャレンジおうえん業務									

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0				
	② 補正予算	0		72,590		0		0				
	③ 繰越予算	0		△ 54,590		54,590		0				
	前年度繰越	0		0		54,590		0				
	次年度繰越	0		△ 54,590		0		0				
小計(①～③)		0		18,000		54,590		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	0		18,000		54,590		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0				
	② 配当予算	0		18,000		0		0				
	③ 執行額	0		16,514		0		0				
	④ 執行率	0.0%		91.7%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.20	/	0.00	0.20	/	0.00		
	② 概算人件費	0		1,600		1,600		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		18,114		1,600		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山市事業者チャレンジおうえん事業(地方創生臨時交付金)		種類	商工費国庫補助金		16,514		決算付属資料	20	頁
						実績金額						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	業種業態転換事業者数	件		/	10 / 10	/ 40	40
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	助成事業者数	件		/	13 / 10	/ 40	40
	単位あたりコスト				1270.3		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	コロナ禍にあつて事業者の業種業態転換を支援することは必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	商工会議所に委託し、事業者の指導・支援と助成金交付事務を一体的に実施している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	事業者の業種・業態転換を促すことでコロナ禍における社会・経済状況の変化に対応することができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	業種業態転換が促進され、事業者の事業継続・発展に資する取組となった。		
これまでの課題及び今後の方向性	新型コロナの感染拡大の状況により適切な対策を講じる必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見極めながら、引き続き、事業者支援や経済活性化等、状況に応じた効果的な事業を検討していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	福知山市テナント家賃支援事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	310177	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	60202	施策名	既存産業を活性化する									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	福知山市テナント家賃支援事業給付金支給要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の事業継続を下支えするため、家賃負担の軽減を図る。						
対象者	中小企業者・小規模事業者			対象者数	480	単位あたりコスト	138.2
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	0	0
	② 補正予算	0	59,452	0	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0	0
	小計(①～③)	0	59,452	0	0	0	0	0
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0	0	0	0
	② 国支出金	0	49,452	0	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	10,000	0	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0	0
	② 配当予算	0	59,452	0	0	0	0	0
	③ 執行額	0	59,360	0	0	0	0	0
	④ 執行率	0.0%	99.8%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.87 / 0.00	0.00	0.00 / 0.00	0.00	0.00 / 0.00	0.00
	② 概算人件費	0	6,960	0	0	0	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0	66,320	0	0	0	0	0
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生臨時交付金		種類	商工費国庫補助金	実績金額	49,360	20
		商工費指定寄附金			商工費指定寄附金		10,000	38

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	給付件数	件		/	320 / 480	/	
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
				/	/	/	
	単位あたりコスト						
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	本市の地域経済の維持・発展の観点から、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中小企業者・小規模事業者の事業継続のために必要。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	専従する職員を配置することによって効率的に事業を遂行した。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	限られた人員と期間の中で、多くの事業者の事業継続の下支えができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中小企業者・小規模事業者に対し、事業継続と経営維持のために、家賃支援を行った。限られた人員と期間の中で、円滑な審査等運営を図り、合計320件にのぼる給付を行った。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後とも、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や社会・経済の状況を適切に判断し、適宜適切な事業者支援を講じていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	・コロナ禍において休業要請も行われる中、事業継続を目的としており必要な事業である。 ・申請期間を当初の期限より2か月間延長した理由として、各申請の審査に時間を要したということだか、申請者目線での事業遂行が必要である。 ・給付後の事業継続の状況確認が必要である。制度利用者からの意見など、把握している内容を踏まえた評価が必要である。 ・コロナにおける複数の事業支援事業の目的が事業継続であり、事業を1本化できれば職員の人件費も効率化できるのではないか。
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見極めながら、引き続き、事業者支援や経済活性化等、状況に応じた効果的な対応を検討していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山市休業事業者応援事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課					所属長	山田 信義					
会計情報	事業コード	310176	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	60202	施策名	既存産業を活性化する									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☐ 継続中 ☒ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、京都市内全域に緊急事態措置が発令されたことに伴い、京都市の要請により休業等に協力した中小企業者及び個人事業主に対して、京都市とあわせて給付金を給付することで、事業者を支援する。												
対象者	休業要請等の対象事業者					対象者数	800		単位あたりコスト	73.5			
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	(1) 給付要件 京都市の要請により休業等に協力した中小企業者及び個人事業主 福知山市で経営・運営している施設を、京都市の要請に応じて休止・営業時間短縮を実施していること (2) 給付内容 中小企業者 20万円(複数の該当施設がある場合は40万円) 個人事業主 10万円(複数の該当施設がある場合は20万円)												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		主な業務内容									
	報償費	53,100		休業事業者応援事業支援金									
	使用料及び賃借料	100		レンタカーリース料									
	役務費	128		郵送料									
	需用費	12		燃料費									

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)				
予 算 情 報	① 当初予算	0	0	0	0				
	② 補正予算	0	53,409	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
		前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)		0	53,409	0	0				
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	53,409	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決 算 情 報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	0	53,409	0	0				
	③ 執行額	0	53,340	0	0				
	④ 執行率	0.0%	99.9%						
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.68 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00		0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	0	5,440	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0	58,780	0	0				
主 な 利 用 特 財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山市休業事業者応援事業(地方創生臨時交付金)	種 類	商工費国庫補助金	実績金額	53,340	決算付属資料	20	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	給付件数	件		/	393 / 800	/	800
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	給付件数	件		/	393 / 800	/	800
	単位あたりコスト				135.7		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	緊急事態宣言下にあつて、休業等で売上減少に苦しむ市内事業者の事業継続を下支えすることができた。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	臨時交付金を財源とし、効率的に事業実施できた。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	京都府の事業に上乗せすることで事業への支援がより手厚くなった。想定件数は京都府同様に経済センサスから算出することで、対象事業者の抜け漏れがないように設定し事業を実施した。緊急事態宣言下にあつて、京都府制度へ上乗せす津ことで、休業等で売上減少に苦しむ市内事業者の事業継続を下支えすることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	京都府の休業要請支援に上乗せする形で事業者支援を行い、事業者の事業継続を支援することができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後とも、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や社会・経済の状況を適切に判断し、適宜適切な事業者支援を講じていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	・緊急事態宣言が発令され、休業要請を行う中で事業継続を目的としており必要な事業である。 ・事業目的は、「給付金を給付する」ではなく「給付金により事業継続を支援する」ことではないか。事業継続の状況確認などのモニタリングが必要である。 ・給付率が約50%(800の対象事業者に対し393事業者への給付)であり、要因の分析が必要である。
----------	---

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見極めながら、引き続き、事業者支援や経済活性化等、状況に応じた効果的な対応を検討していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	福知山市小規模事業者等持続化支援事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	310174	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	60202	施策名	既存産業を活性化する									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス感染拡大により、営業自粛等で影響を受ける小規模事業者に対して、事業全般に広く使える給付金を支給し、事業者の事業継続を支援する。					
対象者	市内小規模事業者		対象者数	360	単位あたりコスト	376.8
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0				0								
	② 補正予算	0		126,149		0								
	③ 繰越予算	0				0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		0		126,149		0								
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0								
	② 国支出金	0		126,149		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		0		0								
	② 配当予算	0		126,149		0								
	③ 執行額	0		126,120		0								
	④ 執行率	0.0%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00	/	0.00	1.19	/	0.00	0.00	/	0.00				
	② 概算人件費	0		9,520		0								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		135,640		0								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山市小規模事業者等持続化支援事業(地方創生臨時交付金)		種類	商工費国庫補助金		実績金額	126,101		決算付属資料	20		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	給付件数	件		/	256 / 360	/	360
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	給付件数	件		/	256 / 360	/	360
	単位あたりコスト				492.7		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	緊急事態宣言下にあつて、売上減少に苦しむ市内事業者の事業継続を支えることができた。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	臨時交付金を財源とし、効率的に事業実施できた。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	緊急事態宣言下にあつて、売上減少に苦しむ市内事業者の事業継続を支えることができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	国の持続化給付金の支給対象とならない売上減少50%未満の事業者を救済する制度であり、事業者や経済団体からも評価されている。		
これまでの課題及び今後の方向性	あくまで新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言等の措置に伴う事業者支援策であり、今後も実施するかどうかは新型コロナウイルスの感染状況や経済の状況による。今後とも、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や社会・経済の状況を適切に判断し、適宜適切な事業者支援を講じていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	・緊急事態宣言等で営業の自粛を求める中で、国の持続化給付金の隙間を埋める事業者支援に必要な事業である。 ・360件の対象のうち256件の活用があったことについて評価が必要である。また、事業目的が「事業者の事業継続を支援」であれば、その後の事業者の事業継続の状況確認が必要である。 ・令和2年分確定申告提出時に、事業者へアンケートなどが実施できないか検討してほしい。
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見極めながら、引き続き、事業者支援や経済活性化等、状況に応じた効果的な対応を検討していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	「ふくちやま食べる応援」事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	310173	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	60201	施策名	商業を活性化させる									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-							
根拠法令等	-												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内飲食店等のテイクアウト商品に関する情報を発信するとともに、商品購入額に応じて観光推奨土産品及びクーポン券(割引代金)を負担することにより、店舗の利用促進と地域経済の活性化を図る。 また、登録店舗がテイクアウト等の材料として地場産もしくは地元調達食材を使用する場合には協力金を支払い、地場産農産物等の消費拡大を図る。				
対象者	市内中小企業、小規模事業者	対象者数	150	単位あたりコスト	203.1
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0						
	② 補正予算	0		25,016		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		0		25,016		0		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		25,016		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0						
	② 配当予算	0		25,016		0		0						
	③ 執行額	0		24,943		0		0						
	④ 執行率	0.0%		99.7%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.69	/	0.00	0.00	/	0.00				
	② 概算人件費	0		5,520		0		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		30,463		0		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	地方創生臨時交付金		種類	商工費国庫補助金		実績金額	24,943		決算付属資料	20		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	消費額	千円		/	48,862 / 63,120	/	
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	参加店舗数	軒		/	127 / 150	/	
	単位あたりコスト				196.4		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	本市の地域経済の活性化の観点から、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける市内飲食店の利用促進と地場産農産物等の消費拡大を図るために必要。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	民間に業務委託することで、民間ならではのスピード感と市内事業者との密な連携による対応が可能となり、事業推進の省力化を図ることができた。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	市内飲食店、地場産農産物・土産物の生産者及び小売業者に対し、店舗情報の発信や割引代金の負担等を通して、営業継続の支援に繋がった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける市内飲食店、地場産農産物・土産物の生産者及び小売業者に対し、営業継続の支援として、消費活性化事業を展開した。また、市内事業者と関係が深い福知山観光協会に委託することで、円滑な運営を図り、地域経済の活性化に繋がれた。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後とも、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や社会・経済の状況を適切に判断し、適宜適切な事業者支援を講じていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	・コロナ禍において売り上げが減少する飲食店のテイクアウトを支援するための事業として必要性はある。 ・観光協会と連携し観光推奨土産品の宣伝消費拡大にまで及んでおり事業の組み立ては有効である。期間も夏休みに合わせて有効的に設定されている。 ・この事業において地場産農作物等の消費拡大を図ることも効率的である。 ・本事業により登録店舗の利用促進に繋がっていると思うが、対象である各店舗の評価はどうであったか把握する必要がある。
----------	---

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見極めながら、引き続き、事業者支援や経済活性化等、状況に応じた効果的な対応を検討していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	新型コロナウイルス対応緊急事業者向け相談会事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	310171	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	178	頁
施策体系	施策コード	60202	施策名	既存産業を活性化する												
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名											
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて経営状況が悪化した事業者に対して、市が主催して、緊急的に福知山商工会議所など関係団体による総合ワンストップ窓口を設置し、経営の継続、再生、安定を支援するため相談会を実施する。					
対象者	市内事業者		対象者数	3,822	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	0	0
	② 補正予算	0	489	0	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0	0
小計(①～③)		0	489	0	0	0	0	0
予算財源内訳	① 一般財源	0	489	0	0	0	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0	0
	② 配当予算	0	489	0	0	0	0	0
	③ 執行額	0	479	0	0	0	0	0
	④ 執行率	0.0%	98.0%					
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00
	② 概算人件費	0	560	0	0	0	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0	1,039	0	0	0	0	0
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	新型コロナウイルス対応緊急事業者相談事業 (地方創生臨時交付金)		種類	商工費国庫補助金	実績金額	479	20
							決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	相談件数	件		/	91 / 91	/	-
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	相談件数	件		/	91 / 91	/	-
	単位あたりコスト				5.3		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	新型コロナウイルス感染症感染拡大による急激な経済の悪化が進行するなか、支援を必要とする事業者に対して、適切な相談・助言を受けることができる場を確保する必要があった。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	ワンストップの相談窓口とすることで、事業者にとって効率的に必要な相談を受けることができる体制を構築できた。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	予定していた相談の枠は大半が埋まり、有効な相談会であった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	新型コロナ感染拡大のなかにあって事業者支援のワンストップ窓口として有効に機能した。		
これまでの課題及び今後の方向性	緊急時の臨時的な措置であり、R2年度で終了。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	・コロナ禍において、市内企業の経営の継続、再生、安定を支援するために必要な事業であり、関係7団体と連携し実施できていることは目的達成する方策として有効な手立てとなっている。 ・事業者にとどの程度役に立ったかについて、考察と評価が必要である。アンケートや実際に融資や雇用助成金を活用した数等を把握し、成果実績として残すことも必要と考える。
----------	---

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見極めながら、引き続き、事業者支援や経済活性化等、状況に応じた効果的な対応を検討していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: —) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	新型コロナウイルス対応緊急資金等特別支援事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	山田 信義			
会計情報	事業コード	310170	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176・178	頁
施策体系	施策コード	60202	施策名	既存産業を活性化する									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて経営状況が悪化した中小企業者が利用する融資に対して、市の単独事業として利子補給を実施し、経営の継続、再生、安定を支援する。					
対象者	市内事業者		対象者数	3,822	単位あたりコスト	10.2
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	0		0		15,515		18,013							
	② 補正予算	0		37,260		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0		0							
	小計(①～③)	0		37,260		15,515		18,013							
予算財源内訳	① 一般財源	0		1,260		0		0							
	② 国支出金	0		36,000		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		15,515		18,013							
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0							
	② 配当予算	0		37,260		0		0							
	③ 執行額	0		36,367		0		0							
	④ 執行率	0.0%		97.6%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.31	/	0.00	0.31	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	0		2,480		2,480		0							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		38,847		2,480		0							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	新型コロナウイルス対応緊急資金等支事業(地方創生臨時交付金)		種類	商工費国庫補助金		36,367		実績金額	36,367		決算付属資料	20	頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	交付件数	件		/	5 / 5	/ 100	100
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	利子補給金額	千円		/	367 / 1260	/ 15,500	15,500
	単位あたりコスト				99.1		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	コロナ禍にあって、事業者の手元資金・運転資金が不足する中で、資金調達に係る利子負担を軽減することができる。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	臨時交付金を基金に積み立てることで後年度の財源を確保した。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	長期的な利子補給を実施することで資金繰りの安定化を図っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	コロナ禍にあって事業資金を必要とする事業者に対して、有効な資金調達手段の一つとして制度を提供できている。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和3年度においても新規受付を継続し、利子補給を継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	・コロナ禍において、京都府支援に加え、市独自策として市内企業の経営の継続、再生、安定を支援するために必要な事業である。 ・対象事業者のうち本事業を活用した事業者の実績などの結果は、今後のためにも分析が必要である。 ・制度実施後に、様々な融資制度や支援制度が創設されたことなども、利用実績等の評価で説明が必要である。 ・事業目的が「経営の継続、再生、安定」であれば、成果指標は「交付件数」ではなく、経営が継続されていることを示す指標が必要である。
----------	---

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	令和3年度までの受付分に対する利子補給分について予算要求を行う。来年度以降の申込受付については京都府の新型コロナウイルス対応緊急資金の実施状況をみながら検討する必要がある。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中心市街地誘客・回遊促進事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	310166	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する												
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和3年度		関連計画名	福知山市中心市街地活性化基本計画								
根拠法令等	福知山市中心市街地誘客・回遊促進事業補助金交付要領															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	中心市街地の特色を住民自らの力で引き出していくことを目指した取り組みを行い、回遊性を高めるとともに、中心市街地の魅力を発信し、誘客を促進することで、中心市街地に賑わいを生み出す。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	946,618	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	600	500	0	0	0	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0	0
小計(①～③)		600	500	0	0	0	0	0
予算財源内訳	① 一般財源	300	0	0	0	0	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	250	0	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0	0
	⑤ その他特財	300	250	0	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0	0
	② 配当予算	600	500	0	0	0	0	0
	③ 執行額	600	0	0	0	0	0	0
	④ 執行率	100.0%	0.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.35 / 0.00	0.12 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00
	② 概算人件費	2,800	960	0	0	0	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,400	960	0	0	0	0	0
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	来場者数	人	18,800/10,000	18580 / 10000	0 / 10000	/ 10000	10000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	同時開催イベント数	事業	8/10	8 / 10	0 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		125.0	75.0			
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	中心市街地活性化基本計画1期計画で整備した3拠点(お城・広小路・駅)を繋ぐ回遊性向上を図るという課題・社会ニーズに対して実施している。 過去開催時には成果指標を大きく上回る来場者数を達成しており、まちなかでの特色あるコンテンツの集積に対する市民や観光客のニーズの高さがうかがえる。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	実行委員会主体で取組み、さらに民間業者への業務委託も有効に活用することで、事業の円滑な実施を行うことができている。 街なみ環境整備やテナントミックス事業など、他の事業と複合的に相乗効果をもたらしている。 企業等団体からの広告協賛金受け入れなどを通じて、補助金に依存しない形での事業継続を目指して取り組まれている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	成果目標は過去に開催されていた「鉄道ワンダーランド」の開催内容を分析し、設定されている。 平成30年度及び令和元年度の実施時には、大きく上回る来場者数を達成しており、誘客・回遊促進に有効性が高い事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	駅正面通りや広小路通り、ゆらのガーデンでのテナントミックス事業や、新町商店街でのマーケット事業など、公民の取組みにより魅力あるコンテンツを集積させ、一体的に情報発信することで市民や観光客の誘客に繋げる。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和2年度事業については新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの開催を中止したが、今後についてはコロナ禍の中においてどのような形で開催が可能であるか実行委員会にて図っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山市産業支援事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	山田 信義						
会計情報	事業コード	310164	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	060202	施策名	既存産業を活性化する												
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	あらゆる産業分野において、経営上の課題を抱える中小企業・小規模事業者・農業従事者等や起業を志す人の課題解決に向けた支援を行うために、福知山産業支援センターを運営し、地域経済の活性化を図る。				
対象者	市内事業者	対象者数	4,135	単位あたりコスト	7.0
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	31,465		30,361		30,411		30,693	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
	小計(①～③)	31,465		30,361		30,411		30,693	
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0	
	② 国支出金	15,441		14,779		15,073		15,215	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	16,024		15,582		15,338		15,478	
決算情報	① 流充用額	16		0		0		0	
	② 配当予算	31,481		30,361		0		0	
	③ 執行額	26,393		24,390		0		0	
	④ 執行率	83.8%		80.3%					
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.28	/	2.00	0.55 / 0.10	0.55 / 0.10	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	15,240		4,650		4,650		0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		41,633		29,040		4,650		0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山市産業支援事業(地域振興基金繰入)			基金繰入金	11,071		40	頁
		福知山市産業支援事業(地方創生推進交付金)			商工費国庫補助金	12,060		20	
					実績金額				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	販路拡大や売上up等につな	件	19/30	155 / 30	157 / 30	/ 100	100
	がった件数/年		/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	相談件数/月	件	79/30	82 / 30	82 / 30	/ 60	60
	単位あたりコスト		302.5	321.9	297.4		
	単位あたりコスト			/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	誰でも何度でも無料で相談することが可能で、お金をかけずにビジネスの流れを変える知恵出しができるため、市内の産業振興にとっては必要性が高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	本事業の委託先である「一般社団法人福知山産業支援機構」は、本事業を行うために市内商工団体により組織された法人であり、各関係機関との連携も密にとれるため効果的に事業が行える。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	全国に設置されている他のbizと連携し、相談件数や成果事例などの情報共有を行うことで成果指標を客観的に見直すことができている。また、相談者への後追い調査によって聞き取った成果やニーズを把握・反映することにより、相談機能や利用者の満足度の更なる向上に努めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	相談件数について、当初目標としていた60件/月を上まわる件数となっている。相談者の約8割がリピーターとして複数回利用している。また、成功事例も着実に増えており、相談者への聞き取り調査でも、センターに相談したことで前向きになった、相談対応に満足したとの結果もでている。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後はセンターの認知度をあげることで、新規相談者を増やし、先行事例を増やしていく必要がある。そのためにも、ホームページやSNS等で積極的に情報を発信していくことが重要である。また、産学官連携など様々な組織団体との連携強化を図っていく。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☒ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	令和2年度より事業を統合した福知山市販路開拓支援事業補助金について、事業者の非対面での販路開拓を支援するため、ECサイト構築・出展にかかる経費についても補助対象とする。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☒ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名： —)	☐ 他事業へ統合 (統合先事業名： —)		

(単位：千円)

事業名	災害復旧融資特別支援事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	310119	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	060202	施策名	既存産業を活性化する												
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和5年度		関連計画名										
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()															
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合															
関連事業																

事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月豪雨災害による災害復旧のための融資を受けた市内の中小企業者に対し、事業再建のために資金繰りの円滑化及び経営の安定化を図る。				
対象者	市内事業所	対象者数	23	単位あたりコスト	110.7
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()				
委託先・実施主体等					
事業概要 (箇条書き)	京都府の実施する災害対策緊急資金、他災害復旧に要する融資を利用する中小企業者に対し、融資実行から12回目までの支払利子相当額、13回目から60回目までの支払利子相当額の2分の1の額を補給する。				
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容		
	負担金補助及び交付金	1,105	利子補給金		

区 分		R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	13,030	1,322	1,036	730	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
	小計(①～③)	13,030	1,322	1,036	730	
予算財源内訳	① 一般財源	13,030	1,322	1,036	730	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	
	② 配当予算 (正職員 / 嘱託職員)	13,030	1,322	0	0	
	③ 執行額	8,199	1,105	0	0	
	④ 執行率	62.9%	83.6%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.35 / 0.00	0.18 / 0.00	0.18 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	2,800	1,440	1,440	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		10,999	2,545	1,440	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

71

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	平成30年7月豪雨災害により被災した中小企業者について、経営再建に向けて長期的に支援する必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	毎年同時期に申請書を送付しているため、事業所にも申請事務があることを理解してもらっており、スムーズに行っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	長期的な利子補給を実施することで資金繰りの安定化を図っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	繰上げ返済(完済)により利子補給額、件数は着実に減少しており、豪雨災害後の経営の安定化が見込まれている。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成26年8月豪雨災害に係る融資に対する利子補給金については令和元年度をもって交付が終了した。既に申込みのある平成29年台風21号、平成30年豪雨災害に係る融資に対する利子補給金については、引き続き要領に基づいた交付を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	既に申込みのある平成30年豪雨災害に係る融資に対する利子補給金については、引き続き要領に基づいた交付を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	小規模企業融資制度事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	310118	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	060202	施策名	既存産業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	日々の経営安定を図るために必要とする事業資金を金融機関から借り受ける小規模事業者を支援することで産業の活性化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とする。					
対象者	市内事業者		対象者数	3,842	単位あたりコスト	0.8
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	7,903		3,270		1,530		1,060						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		7,903		3,270		1,530		1,060						
予算財源内訳	① 一般財源	0		3,270		330		1,060						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	7,903		0		1,200		0						
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0						
	② 配当予算	7,903		3,270		0		0						
	③ 執行額	2,903		1,983		0		0						
	④ 執行率	36.7%		60.6%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.31	/	0.00	0.13	/	0.00	0.13	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	2,480		1,040		1,040		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,383		3,023		1,040		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	小規模企業融資制度事業(きょうと地域連携交付金)		種類	商工費府補助金		実績金額	863		決算付属資料	30		頁
			小規模企業融資制度事業基金繰入			基金繰入金			1,000			40		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	設備資金融資件数	件	12 / 42	10 / 42	2 / 42	/ 42	42
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	利子補給件数	件	58 / 140	16 / 130	10 / 20	/ 20	20
	単位あたりコスト		107.5	181.5	198.3		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	利子補給制度は、民間事業者が行えず、資金繰りの円滑化には有効な手段である。平成30年度より設備投資を行う融資に限定しており、企業の成長、安定化が見込めるだけでなく、労働力不足の解消や生産性の向上に寄与している。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	利子補給制度については、コスト負担は小さくないが、設備投資による収増増加が見込めることから妥当であると判断できる。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	設備投資件数及び設備投資額を把握するようにしたことから利子補給効果が適切に把握できるようになった。目標値については、平成30年度から新規受付を終了する制度が複数あったことや、より有利な新型コロナウイルス関連の利子補給制度の新設により、受付件数を伸ばせず目標を達成できていないため、再度検討が必要である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	市内の全金融機関の融資が対象となっており、市内全域の小規模事業者の支援に繋がっている。小規模事業者の設備投資を支援することで、高齢化に伴う人手不足の解消や働き方改革実現のための生産性向上及びAI・IoT化の促進にもつながる制度となっており、事業の継続や拡大、福知山市の増収に繋がる制度でもある。新型コロナウイルス関連利子補給制度の終了後も市内事業者の積極的な設備投資を喚起するため、引き続き今後の経済情勢に合わせた制度内容の見直しや制度周知を続ける必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	事業者の積極的な設備投資のきっかけとなるよう、申込窓口となる金融機関へのさらなる制度周知が必要である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	今後も金融機関と連携し事業者への周知を図り、市内の小規模事業者の設備投資を支援する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	福知山産業フェア事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課					所属長	山田 信義					
会計情報	事業コード	310110	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	060202	施策名	既存産業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	R3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業													

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	商業・工業・農業等に関わる関係団体が一体となり、三段池公園体育館及び周辺で本格的な物産展を開催し、情報交換、交流などを通じて取引機会の拡大、異種業者との情報交換、交流産業育成と活性化を推進する。												
対象者	市内事業者					対象者数	4,135		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()												
委託先・実施主体等	福知山産業フェア実行委員会												
事業概要 (箇条書き)	「福知山産業フェア」では、企業・団体による製品の展示・技術PR・即売や農協・観光協会による地場産品・観光土産品販売、料理飲食業組合等による飲食グルメコーナー、各種イベント等が行われる。この大規模物産展の開催に対して補助金を支出するもの。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催なし。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		主な業務内容									

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,800		3,800		3,900		3,900		
	② 補正予算	0		△ 3,800		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
	小計(①～③)	3,800		0		3,900		3,900		
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	1,900		0		1,950		1,950		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	1,900		0		1,950		1,950		
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0		
	② 配当予算	3,800		0		0		0		
	③ 執行額	3,800		0		0		0		
	④ 執行率	100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.13	/	0.00	0.01	/	0.00	0.01	/	0.00
	② 概算人件費	1,040		80		80		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,840		80		80		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標		単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	来場者数		人	69,000/70,000	60000 / 70000	0 / 70000	/	70000
	取引機会拡大に繋がった出展者		者	41/150	83 / 50	0 / 50	/	50
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標		単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	出店企業数		者	108/150	125 / 150	0 / 150	/	150
	単位あたりコスト			35.2	30.4			
	単位あたりコスト			/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催されなかったが、本事業のような規模の物産展の市内開催はあまりなく、本市の産業振興にとって必要性は高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	実行委員会の主管である福知山商工会議所には本事業の開催実績もあり、多くの商工業関係団体との連携も強く、より多くの事業所出展が期待できるため、効率的である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	平成30年度の事業棚卸しにより、来場者数だけでなく出店者の取引機会拡大が重要な成果と考え、「来場者数」と「取引機会拡大に繋がった出展者数」を成果指標とした。出展者のアンケート調査において、令和元年度は、125事業所中83事業所が拡大に繋がったと回答しており、取引拡大に繋がっただけでなく、自社商品（サービス）の感想が直接聞けたことや、企業PRに繋がったなどの意見が多数あがった。本事業は企業活動に有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催されなかったが、令和元年度における取引機会の拡大に繋がった事業者は、出展者125社のうち83社であり、半数以上の出展者は、出展したことによる成果を実感していた。取引機会の拡大以外では、本フェアの集客力の高さを実感されており、企業PRができたことや自社商品（サービス）の感想を来場者から直接聞くことができたなどの意見も寄せられ、出展者の満足度は高い。		
これまでの課題及び今後の方向性	本市で開催されているイベントの中でも集客のあるイベントであることから、出展者にとって魅力的である。成果目標達成のためにも、より多く来場いただけるようイベント広報等に努めるとともに、今後は出展者自身によるSNS等での自発的な発信や、来場者がより地元産業を知って、普段から応援するといった機運醸成も必要である。また、出展者の取引機会拡大も重視しつつ、地域の将来を担う子ども達が、地元産業を知り、将来の起業や地元就職に繋がるようなイベントになるよう、実行委員会や関連団体により一層働きかけていく。		

Ⅵ 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	令和3年度については新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止となった。本市の地元産業をPRし、出展事業者の取引機会拡大にも繋がるイベントのため、引き続き事業の支援を行う。

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合先事業名: —) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)			

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	販路開拓支援事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	310108	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	060202	施策名	既存産業を活性化する												
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名											
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市内の小規模企業者が、自社商品及びサービスの販路開拓のため、市外での展示会等イベントに出展するには、会場費や旅費等の経費がかかり、意欲があっても出展しにくい状況があるため、展示会等のイベント参加に係る経費の一部を補助し、市内小規模企業者の販路開拓を支援し、産業の振興を図る。					
対象者	市内小規模事業者		対象者数	2,888	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,050		1,050		0		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		1,050		1,050		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	525		525		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	525		525		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0			
	② 配当予算	1,050		1,050		0		0			
	③ 執行額	317		79		0		0			
	④ 執行率	30.2%		7.5%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.15	/	0.00	0.09	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,200		720		0		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,517		799		0		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	販路開拓支援事業(地方創生推進交付金)		種類	商工費国庫補助金		39		20	
			販路開拓支援事業基金繰入			基金繰入金		17			
						実績金額					
								決算付属資料		40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	本制度を利用し、新規契約に結びついた件数	件	9/67	4 / 67	0 / 67	/ 67	67
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	補助金利用者数	件	9 / 23	3 / 23	2 / 23	/ 23	23
	単位あたりコスト		54.1	105.7	39.5		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	販路拡大を積極的に行う事業者を支援するために必要である。市外の展示会へ出展することは、自社商品を広く広報するための有益な方法であるため、小規模事業者の負担軽減のためにも出展料をはじめ、旅費、交通費等の補助を行う必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	展示会によって補助率を調整。物販のない展示会は補助率1/2。物販を伴う展示会の場合は販売による収益が見込めるため補助率は1/4とし、効率的な交付処理を実施している。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	平成30年度の要綱改正により、補助対象事業者が中小企業者→小規模企業者へ、また1事業者あたりの通算利用回数に制限を設けたため、申請事業所が減少した。展示会終了後一定期間経過後に補助金利用者に調査を行い、展示会終了後の継続的なやり取りにより成約した商談件数等を集計している。(平成30年度受付分は実施無し。令和元年度分は未調査。)
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	平成30年度より、中小企業者から小規模企業者へ対象者が変更したことに加え、通算申請回数を5回に制限したことにより、申請者が減少しており、成果目標と大きく乖離が生じた。制度改正に合わせた成果指標の見直しの検討が必要である。成果指標である新規成約件数を増加させるためには、市内小規模事業者に本制度を利用いただき、市外展示会へ積極的に参加いただく必要がある。そのためにも、引き続き市内小規模事業者へ展示会出展への声掛けや、HPでの展示会開催情報の紹介、補助金制度の広報が必要。		
これまでの課題及び今後の方向性	産業支援センターとの連携を強化するため、本事業を福知山産業支援事業に統合し実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	商店街等振興事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	310107	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する												
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-										
根拠法令等	福知山市商店街等イベント事業補助金、福知山市商店街活性化施設等整備事業補助金															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	商店街は古くから「まちの顔」として重要な役割を果たしてきたが、経営者の高齢化や後継者の不在などに起因した空き店舗の増加や来街者の減少により賑わいが失われ、街全体の活力の低下に大きく影響している。地域商業全体を底上げするための取り組みが求められている背景を踏まえ、意欲的に商店街振興事業に取り組む商店街等に対して補助金を交付することにより、商店街や周辺地域の活性化を図る。					
対象者	市内商店街組織及び商業団体		対象者数	10	単位あたりコスト	117.3
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算 情報	① 当初予算	2,246		1,200		1,426		960		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		2,246		1,200		1,426		960		
予算 財源 内訳	① 一般財源	0		600		0		480		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	223		0		233		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	2,023		600		1,193		480		
決算 情報	① 流充用額	0		0		0		0		
	② 配当予算	2,246		1,200		0		0		
	③ 執行額	1,048		213		0		0		
	④ 執行率	46.7%		17.8%						
人 工 算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.18	/	0.00	0.12	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,440		960		960		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,488		1,173		960		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域振興基金繰入金			種類	基金繰入金		213	決算付属資料	40

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	歩行者自転車通行量	人	3,330/4,115	4052 / 4160	3,976 / 4200	/ 4200	4200
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	イベント実施回数	件	5/10	6 / 10	2 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		80.6	174.7	106.5		
	イベント実施団体数	団体	4/10	5 / 10	2 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		100.8	209.6	106.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	商業を活性化するのみならず、街全体の活性化につながる事業であり、その必要性は高い。中心市街地活性化基本計画においても「人・もの・情報が集まり、誰もが楽しく快適に暮らせるまち」を達成するための事業となっている。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	商店街の活力、結束、イメージの維持向上と街全体の活力の向上に有効である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	2団体の商店街は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらイベントを実施し、集客や売り上げの増に繋がった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、例年開催しているイベントがほとんど自粛となったが、2団体は感染症対策を講じながら実施し、集客増を図れた。 昨今の商店街は会員数の減少や高齢化に伴い、イベントの実施等が難しい状況ではあるが、他団体とも連携しながら一定集客があるイベント実施に向けて商店街に取り組んでいただく必要がある。		
これまでの課題及び今後の方向性	イベント事業の経済効果と集客が一時的なものではなく、継続性のあるものになるような工夫が必要。 関係省庁及び関係団体が策定した業種別の「感染拡大予防ガイドライン」等に則ったイベントの実施が必要。 市内全域の活性化に向け、対象となる団体に広く利用を呼びかける。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	高齢化や後継者不足により商店街の活力が低下している中、誘客・賑わい創出を図るために必要な事業であり、引き続き実施していく。 以前のようなイベント実施のみで終わらないよう、賑わい創出と活性化の促進を目的とした事業全般を補助対象とすることで、継続的な集客と活性化に繋がる事業としている。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☒ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: —) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	商工会商工業振興対策支援事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	310105	款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する									
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-							
根拠法令等	福知山市商工会商工業振興対策支援事業補助金交付要領												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市商工会が実施する商工業振興施策や専門員による経営相談・助言、地域振興に関する各種事業を支援し、本市商工業、地域商工業者の振興・育成支援を図る。				
対象者	市内商工業者	対象者数	3,842	単位あたりコスト	2.4
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	8,400		8,400		8,400		8,400		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		8,400		8,400		8,400		8,400		
予算財源内訳	① 一般財源	8,400		8,400		8,400		8,400		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0		
	② 配当予算	8,400		8,400		0		0		
	③ 執行額	8,400		8,400		0		0		
	④ 執行率	100.0%		100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.13	/	0.00	0.12	/	0.00	0.12	/	0.00
	② 概算人件費	1,040		960		960		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,440		9,360		960		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	組合加入率	%	76/75	75 / 75	79 / 75	/ 75	75
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	巡回支援件数	件	2,412/3,000	2461 / 3000	1,873 / 3000	/ 3000	3000
	単位あたりコスト		3.5	3.4	4.5		
	窓口支援・創業支援の件数	件	605/890	622 / 890	1,271 / 890	/ 890	890
	単位あたりコスト		13.9	13.5	6.6		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	本市の地域経済の維持・発展に向けて、旧三町地域の商工業者の健全な経営の確立や、商工業の振興を図る必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	福知山市商工会は、旧三町地域内の商工業振興や地域振興に重要な役割を果たしている。また、経営指導等、中小企業の振興、育成を図る上で、福知山市商工会と連携した取り組みは非常に有効である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	京都府とともに支援することにより、円滑な運営が可能となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	福知山商工会議所が行う事業を側面から支援することにより、地域の商工業の健全な発展が図られた。		
これまでの課題及び今後の方向性	人事権が京都府商工会連合会に移行してからは、他市町村から福知山市に異動してくる経営支援員と既存の経営支援員との間で給与格差が出ていることから、さらなる財政的支援を求められている。今後、本件補助金の見直し等財政的支援のみならず、新たな事業展開やそれに伴う必要な支援策について、関係機関と連携し、協議していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	本市の地域経済の維持・発展に向けて、市内商工業者の健全な経営の確立や商工業の振興を図る観点から、欠かすことのできない事業であり、引き続き実施していく。 また、令和元年7月の「小規模事業者支援法」の改正により、 ①商工会の事業継続力強化支援計画及び経営発達支援計画の策定、実施は市と共同で行うこと ②法定経営指導員による計画の進行が必要となったこと 等が明確化されたことから、今後さらなる連携強化が必要になる。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	商工会議所商工業振興対策支援事業																
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義								
会計情報	事業コード	310104	款	07 商工費		項	01 商工費		目	02 商工業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	176	頁	
施策体系	施策コード	060201	施策名	商業を活性化する													
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-											
根拠法令等	福知山商工会議所商工業振興対策支援事業補助金交付要領																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (																

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山商工会議所が実施する商工業振興施策や専門員による経営相談・助言、地域振興に関する各種事業を支援し、本市商工業、地域商工業者の振興及び育成支援を図る。					
対象者	市内商工業者		対象者数	3,842	単位あたりコスト	2.2
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	7,670	7,670	7,670	9,393			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)		7,670	7,670	7,670	9,393			
予算財源内訳	① 一般財源	7,670	7,670	7,670	9,393			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0			
	② 配当予算	7,670	7,670	0	0			
	③ 執行額	7,670	7,670	0	0			
	④ 執行率	100.0%	100.0%					
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.13 / 0.00	0.12 / 0.00	0.12 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,040	960	960	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,710	8,630	960	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	組合加入率	%	31/35	31 / 35	32 / 35	/ 35	35
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	経営改善普及事業経営支援員の相談件数	件	1,861/1,800	1583 / 1800	2,054 / 1800	/ 1800	1800
	単位あたりコスト		4.2	4.8	3.7		
	経営改善普及事業個別指導相談	件	85/125	91 / 125	86 / 125	/ 125	125
	単位あたりコスト		91.5	84.3	89.2		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	福知山商工会議所は1,000余りの事業所が加入しており、市内中小企業を支える重要な経済団体である。本市の地域経済の維持・発展に向けて、市内商工業者の健全な経営の確立や、商工業の振興を図る観点から、欠かすことのできない事業である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	福知山商工会議所は、市内商工業者を取り巻く経営環境の変化に敏感かつ柔軟に対応し、本市の商工業振興や地域振興において重要な役割を果たしている。また、経営指導等、中小企業の振興・育成を図る上で、福知山商工会議所と連携した取組みが非常に有効である。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	京都府とともに支援することにより、円滑な運営が可能となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	組合員数は減少傾向にあるものの目標値は概ね達成できており、地域の商工業の健全な発展が図られた。		
これまでの課題及び今後の方向性	地域商工業の健全な発展には、行政施策だけでは行き届かないきめ細やかな商工会議所の事業が不可欠である。企業が経営改善に向けて能動的な動きが取れるよう、環境を整える取組を進めるよう指導する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	本市の地域経済の維持・発展に向けて、市内商工業者の健全な経営の確立や商工業の振興を図る観点から、欠かすことのできない事業であり、引き続き実施していく。 また、令和元年7月の「小規模事業者支援法」の改正により、 ①商工会議所の事業継続力強化支援計画及び経営発達支援計画の策定、実施は市と共同で行うこと ②法定経営指導員による計画の進行が必要となったこと 等が明確化されたことから、今後さらなる連携強化が必要になる。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	森の京都DMO事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	230345	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する												
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (府・市協調実施)															
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合															
関連事業	海の京都DMO事業															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	京都府中部地域(亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市、京都市右京区京北)において、「森の京都」エリアの認知度向上と地域住民自らが地域を誇りに思い、地域外の人々に魅力を発信し、交流人口や関係人口の拡大によって、持続可能な観光地域づくりを目指す。					
対象者	観光入込客		対象者数	892,414	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (負担金支出)					
委託先・実施主体等	森の京都DMO					
事業概要 (箇条書き)	一般社団法人 森の京都地域振興社(森の京都DMO)に対する負担金 森の京都が実施する主な事業 ○インバウンド対策(ファミトリップ、プロモーション) ○ローカルガイド講座 ○着地型旅行造成・販売 ○マーケティング調査 ○観光地域づくり人材支援等					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容			
	負担金補助及び交付金	8,876	負担金			

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	9,124		9,118		8,915		8,952					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		9,124		9,118		8,915		8,952					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	3,337		3,320		3,216		3,216					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	5,787		5,798		5,699		5,736					
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	9,124		9,118		0		0					
	③ 執行額	9,124		8,876		0		0					
	④ 執行率	100.0%		97.3%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.50	/	0.00	0.55	/	0.00	0.55	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	4,000		4,400		4,400		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		13,124		13,276		4,400		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	森の京都DMO事業(地方創生推進交付金)		種類	商工費国庫補助金		3,200		決算付属資料	20		頁
			森の京都DMO事業基金繰入			基金繰入金		5,676			42		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	観光入込客数	人	927,086 / 942,000	1116577 / 942,000	892,414 / 942,000	/ 942,000	942,000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	観光プロモーション等	回	43532	3 / 8	2 / 8	/ 3	8
	単位あたりコスト		3184.0	3041.3	4438.0		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	観光による地域経済の活性化と地域づくりを継続していくためには日本版DMOといった法人化による組織は必要。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	民間主導につなげる仕組みがDMOとして必要であり、森の京都DMOでは今後5か年の中期戦略を令和2年度で策定し、効率を求めた経営改善を図る。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	圏域のプロモーション活動などにおいてはスケールメリットをいかせることから観光による地域振興の取組みとして有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	当該DMOにおいて以下の取組みが実施されており、圏域での観光誘客が図られた。 <令和2年度 事業抜粋> 国内外プロモーション(森の京都の主導による亀岡市及び大津市と連携した東名阪エリアの旅行会社キャラバンの実施 等) マーケティング調査(スマートフォンを活用したアンケート調査の実施 等) 着地型旅行商品開発・販売(市内イベントを観光目的としたツアー造成 等) 他		
これまでの課題及び今後の方向性	インバウンド対策も行いながら、ウィズコロナ社会を見据えたマイクロツーリズムなどDMO自体が事業の見直しを実施された。各DMOと協力しつつ観光入込客数の拡大と観光消費額の増加に努めていく方針であるが、令和3年度についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりインバウンドも含めた観光入込客数の回復は不透明であり、減少すると見込んでいる。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	海の京都DMO事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	230344	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (府・市調整実施)												
R3現在の状況	☒ 継続中 ☐ 廃止/休止 ☐ 他事業へ統合 ☐ 他事業を統合												
関連事業	森の京都DMO事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	京都府北部(宮津市・京丹後市・舞鶴市・福知山市・綾部市・伊根町・与謝野町)を「海の京都」と位置付け、全国有数の競争力ある観光圏となることを目的に地域活性化と観光振興を資する事業を実施					
対象者	観光入込客		対象者数	892,414	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	11,288		11,419		11,116		11,106		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		11,288		11,419		11,116		11,106		
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	4,068		4,114		3,986		3,986		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	7,220		7,305		7,130		7,120		
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0		
	② 配当予算	11,288		11,419		0		0		
	③ 執行額	11,288		10,990		0		0		
	④ 執行率	100.0%		96.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.20	/	0.00	0.50	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,600		4,000		4,000		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		12,888		14,990		4,000		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	海の京都DMO事業(地方創生推進交付金)	種類	商工費国庫補助金	実績金額	3,930	決算付属資料	20	頁
			海の京都DMO事業基金繰入		基金繰入金		7,060		40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	観光入込客数	人	927,086 / 942,000	1116577 / 942,000	892,414 / 942,000	/ 942,000	942,000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	特産品販売額	万円	691 / 2,000	906 / 2,000	2142 / 2,000	/ 2,000	2,000
	単位あたりコスト		17.1	12.5	5.1		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	観光による地域経済の活性化と地域づくりを継続していくためには日本版DMOといった法人化による組織は必要。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	民間主導につなげる仕組みがDMOとして必要であり、海の京都DMOでは今後5か年の中期戦略を令和2年度で策定し効率を求めた経営改善を図る。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	圏域のプロモーション活動などにおいてはスケールメリットをいかせることから観光による地域振興の取組みとして有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	○北部全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開。 [R2主要事業] ・継続的データ収集・整備・分析 ・着地型旅行商品造成 ・インバウンド誘客 ・情報発信・プロモーション 等		
これまでの課題及び今後の方向性	事業費の市町負担、運営形態など今後調整を要する事項が多く関係市町と連携しつつ注視する必要がある。 今後DMO福知山地域本部(福知山観光協会)とDMO総合企画局との業務分担など明確にしながら、地域が稼ぐ仕組みづくりと持続可能な組織体制の確立を目指し協力して旅行造成や情報発信など連携強化をさらに図っていく必要がある。 市として観光入込客数の拡大と観光消費額の増加に努めていくが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大による影響で減少すると見込んでいる。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	ふくちやまディユースプラン活用支援事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	230189	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	ふくちやまディユースプラン活用支援事業補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス感染症の影響により、稼働率が大きく低下した宿泊事業者の支援に向けて宿泊事業者が企画提供するディユースプランの利用回数に応じて、各宿泊事業者に対し補助金を交付し、支援する。				
対象者	宿泊施設	対象者数	13	単位あたりコスト	404.4
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0			
	② 補正予算	0		3,645		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		0		3,645		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		1,645		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		2,000		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0			
	② 配当予算	0		3,645		0		0			
	③ 執行額	0		2,617		0		0			
	④ 執行率	0.0%		71.8%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.33	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	0		2,640		0		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		5,257		0		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ふくちやまディユースプラン活用支援事業(地方創生臨時交付金)			種類	商工費国庫補助金	実績金額	2,617	決算付属資料	20	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	プラン利用回数	回		/	773 / 1000	/	
						/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	登録施設	件		/	13 / 38	/	
	単位あたりコスト				201.3		
	単位あたりコスト					/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	宿泊事業者の支援の観点から、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける宿泊施設の利用促進とディユースプランという新たな需要の掘り起こすために必要。他市からも制度に対する問い合わせがあったことから、注目されていたことが分かる。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	補助額は1日1回あたり上限3,000円であり、利用者にも一定額負担していただくため、必要最低限のコストで実施できた。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	宿泊者の掘り起しができ、新たな顧客獲得のきっかけにもつながった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける宿泊事業者に対し、営業継続の支援として事業を展開した。ディユース利用という新たな需要を創出でき、直接的な経済効果は3,677,000円だった。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける宿泊事業者に対し、必要な支援を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	・コロナ禍で宿泊需要が減るなか、テレワーク需要を見越し、宿泊事業者がディユースプランを導入し事業転換を図る実証実験への支援であり、必要な事業である。 ・この事業の成果として、参加宿泊事業者に対してどの程度の利益増加となったかアンケートなどで調査できないか。「新たな需要の掘り起こし」となったか否かの判断は、その後もディユースに類するプランが継続されているかや新たなユーザーが定着したかどうかではないか。 ・宿泊事業者(登録施設)38施設のうち、1/3の13施設しか利用されなかった点についても評価が必要である。
----------	---

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	今後も、新型コロナウイルス感染拡大が観光業等に影響を与えた場合は、今回の事業を参考しつつ事業者支援を検討、実施していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: —) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	「肉のまち福知山」事業																
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	230186	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁	
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する													
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名												
根拠法令等	「肉のまち福知山」事業補助金交付要綱																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (																

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	かつて本市に西日本の三大家畜市場があり、全国の流通を支えた歴史的な背景から、現在も精肉店や焼肉店を中心に様々な「肉」を扱った店舗が多く存在している。食文化としての肉を新たな観光コンテンツとし「肉のまち福知山」を食のイベントに絡めてPRすることで観光振興による地域活性化を図る。				
対象者	近隣市町の住民及び福知山市民	対象者数	10,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,800		1,255		1,400		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		1,800		1,255		1,400		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	900		600		700		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	900		655		700		0					
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	1,800		1,255		0		0					
	③ 執行額	1,800		661		0		0					
	④ 執行率	100.0%		52.7%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.35	/	0.00	0.18	/	0.00	0.18	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,800		1,440		1,440		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,600		2,101		1,440		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	「肉のまち福知山」事業基金繰入		種類	基金繰入金		361		決算付属資料	42		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	観光入込客数	人	927,086/942000	1116577 / 942000	892414 / 942000	/ 942000	942000
	イベント参加者数	人	7000/3000	10000 / 3000	0 / 3000	/ 3000	3000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	実施回数	回	1/1	1 / 1	0 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		2000.0	1800.0			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	「肉のまち福知山」として食イベントによる福知山をPRする中心的事業であり、交流人口の拡大と観光消費額増加に効果がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	出店料を徴収する仕組みとし、財源の確保に努めている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	令和元年度は10,000人の来場者があり、広く「肉のまち福知山」をPRできた。直前にテレビ番組で告知ができたこともあり、府外からも来場者があった。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	H30は来場者約7,000人、R1は来場者約10,000人と増加しており、新たな観光コンテンツ「肉のまち福知山」が浸透しており、交流人口の拡大に寄与している。また、イベントを機に店舗を訪れる人の流れができるなど、参加事業者からも評価を受けている。		
これまでの課題及び今後の方向性	イベントだけにとどまらず、恒常的に「肉のまち福知山」を感じられる仕組みづくりやPRが必要。補助金終了後の組織体制づくりを民間主導で行うなど取り組みが課題。今後も食というコンテンツとしてPRするとともに、観光入込客数の拡大と観光消費額の増加に努めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	サンセット方式により事業を廃止する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山観光地域づくりセンター運営事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	230184	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
施策体系	施策コード	060301		施策名	観光客の増加を促進する											
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和2年度		関連計画名									
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	『北近畿の玄関口としての特性を活かし、市民主体で持続可能な観光コンテンツをつくる』を戦略テーマとし、過疎化や高齢化等により活力を失いつつある地域の地域資源と経営感覚のある事業者を繋いで、観光を切り口としながら持続可能な観光地域づくりを目指す。				
対象者	上六人部地区、三岳地区		対象者数	—	単位あたりコスト
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	8,784		6,794		0		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		8,784		6,794		0		0		
予算財源内訳	① 一般財源	0		3,354		0		0		
	② 国支出金	4,392		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	4,392		3,440		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0		
	② 配当予算	8,784		6,794		0		0		
	③ 執行額	8,765		6,660		0		0		
	④ 執行率	99.8%		98.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.45	/	0.00	0.30	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	3,600		2,400		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		12,365		9,060		0		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山観光地域づくりセンター運営事業(地方創生推進交付金)	種類	商工費国庫補助金	実績金額	3,300	決算付属資料	20	頁
			福知山観光地域づくりセンター運営事業基金繰入		基金繰入金		3,300		40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	観光入込客数	人	927,086 / 942,000	1116577 / 942,000	892,414 / 942,000	/ 942,000	942,000
	0			/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	事業着手地区数	回	3/ 3	3 / 3	2 / 2	/	3地区の自走化
	単位あたりコスト		4259.0	2921.7	3330.0		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	地域資源を観光という視点で見直し、磨き上げることで交流人口や関係人口を拡大する。今後の持続可能な地域づくりを展開する上で必要。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	地域が主体的に取り組むことが必須条件であり、一定期間の試行時間等がかかるため、必然的にコストはかかるが、民間事業者を繋げることで地域資源を観光コンテンツ化できるとともに民間事業者との連携による効果的かつ効率的な事業運営が可能となる。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	この事業を有効に機能させるためには、まず地域が主体的に取り組むことが不可欠であり、一定期間継続して取り組む必要があるが、地域によっては、事業継続が出来ない場合もあるため見極めが必要である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	事業着手地域においては、地域資源の見直しを進められるなど地域が主体となり、機運の醸成ができた。持続可能な住民主体による事業展開を目指すことを目的としており、3地区で取り組みを進めたところ平成31年度から1地区が自走化できた。今後についても観光を切り口とした地域主体で持続可能な事業展開を行う理念は継続していく。		
これまでの課題及び今後の方向性	本事業を地域住民が主体的に取り組むにはまず、地域の中での人材が必要不可欠である。また地域と団体等を繋ぐコーディネート人材も必要である。今後観光地域づくりを更に機動的に効果を発揮させるためには、海の京都DMOなどが事業主体となり、開発したコンテンツの販売を促進させていくことが必要。市が地域を指定し事業実施してきているため、地域住民の主体性が低くなる傾向であった。今後地域からの要望に対して支援策を提案するという公募形式も検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	観光友好都市交流事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	230166	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する												
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	平成24年に「観光友好都市連携」及び「災害時における相互応援協定」を締結した。大江山の酒吞童子伝説とゆかりのある金太郎の生誕地 静岡県小山町と観光分野における地域交流を通して住民福祉の向上と地域社会の発展に資するため交流を促進し将来にわたる絆を深める。					
対象者	交流事業参加小中学生		対象者数	25	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,082		1,227		0		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)		1,082		1,227		0		0	
予算財源内訳	① 一般財源	0		221		0		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	1,082		1,006		0		0	
決算情報	① 流充用額	△ 158		0		0		0	
	② 配当予算	924		1,227		0		0	
	③ 執行額	897		0		0		0	
	④ 執行率	97.1%		0.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.15	/	0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	1,200		0		0		0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,097		0		0		0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	富士山登山参加数	人	14	0 / 14	0 / 14	/	14
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	実施回数	回	1/2	2 / 2	0 / 2	/	2
	単位あたりコスト		431.0	448.6			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	平成24年に提携した観光友好都市静岡県小山町との交流を今後も継承し、将来にわたる絆を深めるために必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	例年、富士山登山参加者から負担金を徴収して財源確保に努めているが、14名の中学生参加者に対し行政3名、学校関係者1名の随行をしており、見直しも必要。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	市民(小学生、中学生同士)が交流することにより、両市町の親交を更に深めることができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	小山町の子どもたちと交流を図ることで、お互いのまちに対する愛着心の醸成につながっている。募集については、各中学校へ案内を配布、参加申込は毎年30名程度を受付けている状況であるが、参加は受入先の態勢で14名である。 (夏休み富士山チャレンジ自然体験)		
これまでの課題及び今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響により、登山者の安心・安全を確保するため、令和3年度は事業を休止する。令和4年度についても新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から登山、山小屋での宿泊状況など通常再開は困難である。今後、こども達の学習教育環境も変化していくことから、オンラインでの交流学習も含め所管替えも必要である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山踊振興会40周年記念事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	山田 信義			
会計情報	事業コード	230156	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山踊振興会40周年記念事業補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本市の無形民俗文化財である福知山踊りの保存・振興を目的とする団体である、福知山踊振興会の設立40周年記念事業の実施を支援する。					
対象者	福知山踊振興会		対象者数	80	単位あたりコスト	13.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0		650		0		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
	小計(①～③)	0		650		0		0		
予算財源内訳	① 一般財源	0		650		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0		
	② 配当予算	0		650		0		0		
	③ 執行額	0		650		0		0		
	④ 執行率	0.0%		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.05	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	0		400		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		1,050		0		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	40周年記念式典	人		/	60 / 100	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	記念誌発行	冊		/	300 / 300	/	
	単位あたりコスト				2.2		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向け、福知山踊りの振興と発展、次代への継承のため、団体を市が支援する必要性は高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	必要最小限の経費の支出としており、記念誌やDVDは小中学校への配付、図書館へ寄贈しており、市民にも福知山踊りに触れる機会を作っている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	伝統文化である「福知山踊り」を次世代へ継承していくために有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	【定性的評価】伝統文化である「福知山踊り」を次世代に継承していくため、親子向けの教室を開催し、市民への普及を図った。また、記念誌やDVDを小中学校に配付、図書館に寄贈しており、市民にも福知山踊りに触れる機会も設けた。		
これまでの課題及び今後の方向性	今後も「福知山踊り振興事業」において、福知山踊りの振興と発展を図っていくほか、「ドッコイセまつり」や「ドッコイセフェスティバル」等の関連イベントの活性化につなげていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	・福知山踊りの振興と発展の目的とし補助することは、必要な事業と考える。100%補助ではなく、福知山踊り振興会の自主財源も活用し事業を行ったことは事業の組み立てにおいて理にかなっている。ただ、その負担割合については今後振興会と協議していく必要がある。 ・業績指標の活動実績や成果実績の設定は必要である。(例えば活動実績は当初計画の活動数と実施、成果実績はイベントへの参加数や作成DVDや記念誌の活用実績、また振興会会員の増加数等。) ・当該事業で作成された成果物(記念誌やDVD)の利活用の状況は一定の把握が必要と考える。 ・事業内容について「福知山踊り」の振興と「踊り振興会」の振興の整理が必要である。
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☒ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	5年毎の事業のため廃止

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☒ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山お城まつり支援事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	230147	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山お城まつり事業補助金交付要綱												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	春の福知山を代表する「福知山お城まつり」を実施することにより、福知山市のシンボルであり、明智光秀が築城した「福知山城」を市外に向けて広くPRする。また、イベントを通じて観光客の誘客促進につなげ交流人口の拡大を目指す。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	30,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,000		3,000		3,100		3,100		
	② 補正予算	0		△ 3,000		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		3,000		0		3,100		3,100		
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	3,000		0		3,100		3,100		
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0		
	② 配当予算	3,000		0		0		0		
	③ 執行額	3,000		0		0		0		
	④ 執行率	100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.11	/	0.00	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	880		0		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,880		0		0		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	イベント入込客数	人	11,000/12,000	10000 / 12000	0 / 12000	/ 12000	12000
	観光入込客数	人	927,086/942000	1116577 / 942000	892414 / 942000	/ 942000	942000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	光秀行列	回	1/ 1	1 / 1	0 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		3000.0	3000.0			
	開催日数	日	2/2	2 / 2	0 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		1500.0	1500.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	本市のシンボルである「明智光秀ゆかりの福知山城」を広くPRし、イベントを通じて本市の個性と魅力を発信し、交流・集客の促進につなげていくことができる事業であり、実行委員会を組織し全市的に取り組むことが必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	実行委員会の事務局である福知山商工会議所は、飲食店をはじめ多くの事業者との連携も強く、より多くのイベント出店確保や市民による盛り上げの効果が期待できる。協賛金を募集など、自主財源の視点も確保においても努力されている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	福知山の春を代表するイベントとして定着しており、毎年多くの入込客がある。また、「明智光秀が築いた城下町 福知山」を全国に発信し、本市のPRや誘客を図るものとして有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	「福知山お城まつり」は福知山城天守閣の再建を機に始まったもので、本市の春を代表するイベントとして観光誘客の増加や中心市街地の賑わい創出に寄与している。		
これまでの課題及び今後の方向性	福知山市の春を代表するイベントであり、その誘客効果と本市のPR効果は高い。大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を機に、「明智光秀が築いた城下町 福知山」を全国に発信し、本市のPRや誘客を図った。財源確保や同時開催イベントとの連携を検討しつつ継続して事業を実施するため、平成29年度から収支決算状況を精査し補助金額を減額した。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	観光パンフレット作成事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	山田 信義						
会計情報	事業コード	230139	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060305	施策名	観光情報の発信力を高める												
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山を効果的にPRするためパンフレット等を作成する。				
対象者	観光入込客	対象者数	892,414	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	399		2,471		2,899		1,573						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
		前年度繰越	0		0		0		0					
		次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		399		2,471		2,899		1,573						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	399		2,471		2,899		1,573						
決算情報	① 流充用額	138		0		0		0						
	② 配当予算	537		2,471		0		0						
	③ 執行額	449		1,429		0		0						
	④ 執行率	83.6%		57.8%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.10	/	0.00	0.50	/	0.00	0.50	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	800		4,000		4,000		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,249		5,429		4,000		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	観光パンフレット作成事業基金繰入			種類	基金繰入金		実績金額	1,341		決算付属資料	38		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	観光入込客数	人	927,086 / 942,000	1116577 / 942,000	892,414 / 942,000	/ 942,000	942,000
				/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	観光キャンペーン	回数	7/10	10 / 10	1 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		221.7	44.9	1429.0		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	道の駅や観光施設への配架、キャンペーンでの配布は本市を知らない人に対して魅力を伝えるために必要な手段である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	本年度増刷したパンフレットは、本パンフレットを作成した原版データを有する業者に委託し安価に増刷できている。福知山の魅力をPRするのに紙媒体が適切なのか、アプリ等ほかのツールを検討する必要がある。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	大河ドラマを機に本市を訪れる方に配布することで周遊を促進できる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本市の魅力を効果的に伝えるためにパンフレットの作成は必要である。観光パンフレットの送付依頼も多く、大河ドラマの影響もあり効果的に配布できた。		
これまでの課題及び今後の方向性	インバウンド用に英語・韓国語・簡体字・繁体字を発行しているが、日本語版を翻訳した内容になっている。各言語版ごとに内容を作り変え、より訴求力のあるパンフレットを作成する必要がある。紙媒体以外にもアプリやデジタルサイネージなどの他の媒体も検討していく必要がある。直接実施ではなく民間委託も検討し広告収入など財源確保も検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	(一)京都市北部地域連携都市圏振興社福知山地域本部(通称福知山観光協会)において事業実施にむけて協議を進める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	観光案内所管理運営事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	山田 信義						
会計情報	事業コード	230131	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060302	施策名	観光施設・交流施設を充実させる												
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	JR福知山駅北口に設置した観光案内所の管理・運営や福知山観光のPR活動を行う。				
対象者	観光客	対象者数	22,525	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	7,813		8,625		8,617		8,796			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
	小計(①～③)	7,813		8,625		8,617		8,796			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	7,813		8,625		8,617		8,796			
決算情報	① 流充用額	66		0		0		0			
	② 配当予算	7,879		8,625		0		0			
	③ 執行額	7,879		8,551		0		0			
	④ 執行率	100.0%		99.1%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.20	/	0.00	0.25	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,600		2,000		2,000		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,479		10,551		2,000		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	観光案内所管理運営事業基金繰入			種類	基金繰入金	実績金額	4,326	決算付属資料	40	頁
		観光案内所管理運営事業(きょうと地域連携交付金)				商工費府補助金		4,193		30	
		駅レンタカーギャラリー光熱水費				雑入		17		44	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	観光入込客数	人	927,086/942,000	1116577 / 942000	892414 / 942000	/ 942000	942000
	推奨土産品登録数	個	158/166	158 / 166	173 / 166	/ 166	166
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	観光案内所開所日数	日	359/ 359	359 / 359	340 / 365	/ 361	365
	単位あたりコスト		20.7	21.9	25.2		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	福知山の観光情報などを発信する拠点であるため必要である。自然や歴史、文化等の観光資源をPRし観光による交流人口や関係人口増加に繋がることで、地域の活性化に寄与するもので継続して事業を行う必要がある。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	委託業務として観光案内所の管理運営業の経費を支出。観光土産品販売を平成30年から観光協会が開始された。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	観光による交流人口や関係人口の拡大がもたらす経済効果は極めて大きい。しかしながら現在管理運営が主体となる業務委託のため、海の京都DMO地域本部としての(福知山観光協会)独自性が発揮されていない。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	大河ドラマの影響で観光案内所への来場者が増加しており、観光案内所の管理運営、観光情報の提供について情報発信効果が見込まれる。職員のスキルアップにも繋がっている。(観光会案内所来訪者:平成30年度15,746人 令和元年度24,728人 令和2年度22,525人 福知山観光協会調べ)		
これまでの課題及び今後の方向性	海の京都DMO管内の地域本部(各観光協会)で旅行造成、販売など観光地域づくりと絡めて事業を開始しているが海の京都DMO福知山地域本部(福知山観光協会)については未実施。今後海の京都DMOと連携した観光コンテンツの造成・販売を行えるよう海の京都DMO福知山地域本部(福知山観光協会)への業務委託内容の見直し、人材確保も含めて対応していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	今後、海の京都DMO福知山地域本部との定例会議を開催し課題を整理。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山踊り振興事業																
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	230130	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁	
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する													
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名												
根拠法令等																	
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (																

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市内の各団体に対して、福知山踊りの講師を派遣することにより、市無形民俗文化財であり400年の伝統ある「福知山踊り」の振興と発展及び踊り手の育成を図り、福知山踊りの伝統を後世に伝えていく。また、「福知山踊り」を普及することで、「ドッコイセまつり」や「ドッコイセフェスティバル」等の関連イベントの活性化を図り踊り、参加者増加や観光誘客に繋げる。					
対象者	観光客及び市民		対象者数	10,500	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,365		1,945		2,706		2,706					
	② 補正予算	0		△ 1,580		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		2,365		365		2,706		2,706					
予算財源内訳	① 一般財源	2,365		0				0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		365		2,706		2,706					
決算情報	① 流充用額	△ 414		0		0		0					
	② 配当予算	1,951		365		0		0					
	③ 執行額	1,951		116		0		0					
	④ 執行率	100.0%		31.8%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.10	/	0.00	0.18	/	0.00	0.18	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	800		1,440		1,440		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,751		1,556		1,440		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山踊り振興事業基金繰入		種類	基金繰入金		実績金額	116		決算付属資料	40	
													頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	受講者数	人	2124/1500	2048 / 1500	509 / 1500	/ 1500	1500
	踊り参加者	人	11300/9000	10500 / 9000	0 / 9000	/ 9000	9000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	派遣回数(単価契約)	回	44/45	39 / 45	12 / 45	/ 45	45
	単位あたりコスト		9.5	9.5	9.7		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向け、福知山踊りの振興と発展、次代への継承のため、団体を市が支援する必要性は高い。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	実行委員会の事務局である福知山商工会議所は、ドッコイセまつりの開催にあたり協賛金を募るなど、自主財源の確保にも努めている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	講師派遣については、特に保育園・小学校からの要望が多く、伝統文化である「福知山踊り」を次世代へ継承していくために有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	本市の伝統文化を保存・継承する役割を果たしている。福知山踊り講師派遣については毎年、年間約40件程度派遣があり、参加総人数も2000人で推移していることから一定ニーズがある。令和2年度は新型コロナの影響により各団体からの派遣依頼が12件であり、例年に比べて大幅に減少した。		
これまでの課題及び今後の方向性	ドッコイセ花火大会が開催されていた頃は、花火大会も含めイベントとして観光担当部署が所管していた。ドッコイセまつり自体はイベント行事であるためこのまま産業観光課の所管で問題はない。しかしながら、福知山踊りの歴史的背景や子どもから高齢者まで踊り文化の伝承といった側面があるため、踊りの継承である講師派遣事業については、文化振興活動であり、所管の整理も必要。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	福知山踊りの発展について、事務局である商工会議所や福知山踊振興会などと協議を進める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	観光振興一般管理事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課							所属長	山田 信義						
会計情報	事業コード	230125	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する												
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☒ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	観光振興業務を円滑に執行する。						
対象者	-			対象者数	-	単位あたりコスト	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)					
予 算 情 報	① 当初予算	1,575		1,750		1,629		3,270					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
		前年度繰越	0		0		0		0				
		次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		1,575		1,750		1,629		3,270					
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	1,540		1,715		1,606		3,247					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	35		35		23		23					
決 算 情 報	① 流充用額	417		△ 4		0		0					
	② 配当予算	1,992		1,746		0		0					
	③ 執行額	1,958		1,192		0		0					
	④ 執行率	98.3%		68.3%									
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.50	/	0.00	0.15	/	0.00	0.15	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	4,000		1,200		1,200		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,958		2,392		1,200		0					
主 な 利 用 特 財 (N－1年度実績値)		特財名称	観光テレホンカード		種 類	財産収入	実績金額	3	決算付属資料	36	頁		
			福知山十景絵はがき			財産収入		3		36			
			観光振興一般管理事業(きょうと地域連携交付金)			商工費府補助金		250		30			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	観光入込客数	人	927,086 / 942,000	1,116,577 / 942,000	892,414 / 942,000	/ 942,000	942,000
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	連携する広域観光団体	団体	3/3	3 / 3	3 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		865.7	652.5	397.3		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	観光行政全般の事務経費であり、関係団体との連携や各施設の維持管理を適正に実施するため必要。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	海の京都や森の京都と連携しながら、観光プロモーションなど単独でできないことはスケールメリットをいかし広域で取り組んでいる。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	DMO以外の観光団体に関する負担金の予算を計上し毎年定額を支払っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	観光振興を進めるための経費であり、各自治体や各種観光団体と連携することで福知山の情報発信に繋がっている。		
これまでの課題及び今後の方向性	自治体の判断で、これまで加盟されてきた広域観光団体を脱退されるなど、市町の状況にも変化が出てきている。本市においても、海の京都DMO、森の京都DMOの参画を始め、京都府広域観光連盟、北近畿広域観光連盟、大江山観光開発協議会があり、参画においてはメリット、デメリットを分析していくなど、広域観光団体参画についての一定整理が必要。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	観光おもてなし促進事業												
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義				
会計情報	事業コード	230101	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
施策体系	施策コード	60301	施策名	観光客の増加を促進する									
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	一般市民を対象とした観光ガイド養成講座を開催し、観光客の方に歴史・文化・観光スポット等、本市の魅力をより効果的に案内することができる観光ガイドを養成する。					
対象者	ディスカバーウエストハイキング参加者		対象者数	197	単位あたりコスト	5.8
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	402		402		402		459				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		402		402		402		459				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	402		402		402		459				
決算情報	① 流充用額	△ 6		0		0		0				
	② 配当予算	396		402		0		0				
	③ 執行額	393		347		0		0				
	④ 執行率	99.3%		86.3%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 嘱託職員)	0.10	/	0.00	0.10	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	800		800		800		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,193		1,147		800		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	観光おもてなし促進事業基金繰入		種類	基金繰入金		実績金額	283		38	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	観光ガイド数	人	35/30	42 / 30	47 / 30	/ 30	30
	受講者数	人	8/30	27 / 30	11 / 30	/ 30	30
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	養成講座実施数	回	7/7	7 / 7	6 / 7	/ 7	7
	単位あたりコスト		52.5	49.5	57.8		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	おもてなしの心をもって福知山の魅力を十分に案内することで、観光客の満足度を高め、何度でも福知山を訪れていただくためのおもてなしプランを市として充実させている。 また、ディスカバリーウエストハイキングは、JR西日本が事業として広報し、観光協会や観光ボランティアガイドが観光客に観光スポットをより魅力的に伝え、地域資源を活性化させるために実施している。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	ガイドツアーが催行された場合におけるガイド団体謝金であり最小限度の支出をしている。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	ガイド養成講座の実施により、ガイド人材確保と観光客の満足度を高め、リピーターとして訪れてもらうよう、ガイドの質の向上を図っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	サポート会員新設などにより、目標のガイド人数は到達し、維持することができている。 JR西日本のディスカバリーウエストハイキングについては、聞いてみないと分からない地域の魅力を定期的に発信する場として、また地元ガイドが自分の言葉で伝える貴重な場である。毎年平均約200名の個人での申し込みがありニーズもあることから有効な手段である。		
これまでの課題及び今後の方向性	講座を修了された方が実際にガイドとして活躍されるのは少人数であり、受講者に対してのフォローが必要である。 また、現役ガイドの高齢化が進んでおり、新たな観光ガイドの育成が急務である。 海の京都DMO福知山地域本部(福知山観光協会)が事務局を持ち市の受託事業として実施していくことが最も効果的である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	海の京都DMO福知山地域本部に業務を委託し今後の運営形態について効果検証を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☒ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	日本鬼文化交流事業															
事業担当	所属	25050000 産業政策部 産業観光課						所属長	山田 信義							
会計情報	事業コード	130117	款	07 商工費		項	01 商工費		目	03 観光費		会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	060301	施策名	観光客の増加を促進する												
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名											
根拠法令等	福知山市酒吞童子祭り事業補助金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	大江山酒吞童子祭りを通じて鬼伝説が残る「福知山市大江町の鬼」を全国に発信するとともに、「日本鬼師の会」の活動を支援することにより、有形の鬼瓦や、無形の鬼伝説を観光・交流コンテンツとして大江地域の活性化を図る。また鬼に関係する市町(兵庫県川西市、静岡県小山町)との相互交流により絆を深める。				
対象者	鬼力の由良川夏祭り及び酒吞童子祭り来場者	対象者数	4,500	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	2,134	1,744	1,844	1,901			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	2,134	1,744	1,844	1,901			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	2,134	1,744	1,844	1,901			
決算情報	① 流充用額	△ 106	0	0	0			
	② 配当予算	2,028	1,744	0	0			
	③ 執行額	1,131	0	0	0			
	④ 執行率	55.8%	0.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.15 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	1,200	0	0	0	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,331	0	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	観光入込客数	人	927,086/942,000	1116577 / 942000	892414 / 942,000	/ 942,000	942000
	大江山酒吞童子祭参加者	人	2,500/2,500	1500 / 2500	0 / 0	/ 2500	2500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	日本鬼師の会大会・理事会	回	3 / 4	2 / 4	0 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		840.3	565.5			
	鬼にかかわる相互交流	回	3 / 6	3 / 6	0 / 6	/ 6	3
	単位あたりコスト		840.3	337.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価	評価の理由
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	大江町の鬼伝説や鬼瓦を交流コンテンツとして活用した事業であり、大江地域の個性を活かした地域づくりには必要である。 収益性が低く民間事業者は参入しにくい。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	住民組織の中でイベント参加負担金や協賛金を募り経費削減と財源確保について意識が高い。しかしながら自主財源が乏しく何らかの支援は必要。
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	イベント自体は30年以上の活動実績があるが、イベント自体のマンネリ化は避けられず、先進的事例など調査が不足している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	日本鬼師の会全国研修大会では、福知山城の瓦をはじめとする内容の講演や日本の鬼の交流博物館において全国各地の鬼師が作成した作品を展示することで幅広い世代に鬼瓦文化に親しんでもらえる機会となったが高齢化により活動は令和元年度をもって休止された。 大江地域住民の鬼を活用した地域イベントの目的も達成している。		
これまでの課題及び今後の方向性	補助金での事業実施であり、大江山酒吞童子祭り実行委員会が継続的に事業を実施していくには自主財源の確保が課題。 日本鬼師の会は、後継者の確保が課題となっており当会は令和元年度をもって活動を休止とされた。 「鬼力の由良川夏まつり」と「酒吞童子祭り」を大江の夏、秋イベントとして実施していくことで、大江地域の一体化と地域を訪れる交流人口の拡大による活性化、また持続可能なイベントとなるよう大江まちづくり住民協議会の中で主体的に検討を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換え ☐ 廃止／休止 ☒ 事業の見直しなし	特になし。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☒ 現状維持 ☐ 廃止／休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名: ー) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---